

加美町男女共同参画社会における  
町民意識調査結果報告書

平成26年3月

加美町企画財政課

# 目 次

1. 調査の概要	
1) 調査目的	1
2) 調査対象	1
3) 調査方法	1
4) 調査期間	1
5) 調査法基本項目	1
6) 回収結果	2
7) その他	2
2. 調査結果	
1) 回答者の属性について	3
(1) 男女平等意識と役割分担について	4
(2) 職業観などの意識について	21
(3) 家庭観などの意識について	33
(4) 社会活動や学校における意識について	45
(5) 人権問題について	53
(6) 男女共同参画社会の形成について	60
加美町が、男女共同参画社会の実現を目指した行政を推進する上での、 ご意見・ご要望について（自由記述）	65
3. 資料編	
アンケート調査票	

## 1 アンケート調査の概要

---

## 調査の概要

### 1. 調査の目的

町民の意識、動向並びに要望等を把握し、男女共同参画を推進するため、「第2次男女共同参画プラン」並びに「男女共同参画行動計画」策定の基礎資料とすることを目的とする。

### 2. 調査対象

平成25年9月末現在の住民基本台帳を基に、満20歳以上の町民から無作為抽出した1,000人を対象とする。

### 3. 調査方法

無記名式・郵送による調査とする。

### 4. 調査期間

平成25年11月18日（月）～11月30日（土）

### 5. 調査票基本項目

#### (1) 基本的属性項目

性別、年齢

#### (2) 基本的質問項目

第1次加美町男女共同参画プランに基づき、以下に示す項目を基本とし男女共同参画に対する町民の意識、動向を把握する。

調査項目	調査内容
回答者の属性について	・男女別、年齢別など回答者の属性を把握する。
男女平等意識と 役割分担について	・性役割意識、女性が職業を持つこと、男女平等社会であるかどうか、平等になるために必要なこと、夫婦間の役割分担等についての意識を把握。
職業観などの意識について	・職場の格差、働く目的、仕事に対する不満、仕事をする上での負担、仕事を辞めた理由、平等になるために必要なこと等についての意識を把握。
家庭観などの意識について	・子どもを預ける人・機関、子どもを育てる意味、欲しい子どもの数、少子化の原因、介護の希望、介護の担当者、男性の関わりを進めるために必要なこと等についての意識を把握。
社会活動や学校における 意識について	・審議会等における女性の比率に対する考え、政策決定の場への女性参加に対する意見、参加している地域活動、地域活動に参加しない理由、教育現場で平等になるために必要なこと等についての意識を把握。

人権問題などの意識について	・女性の人権が尊重されていないと感じるとき、近親者の暴力、DVの被害の有無等についての意識を把握。
男女共同参画社会の形成について	・女性の地位向上に向けた取組の認知、行政が力を入れていくべきこと等についての意識を把握。

## 6. 回収結果

アンケートの調査の回収結果は、下記のとおりです。

	配布数	回収数	回収率
回収率	1,000人	407人	40.7%

## 7. その他

(1) 基本的属性項目及び基本的質問項目の数値等についての共通の基本的な事項

- ① 比率は全て百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。そのため、見た目の各比率合計すると、全体の合計比率(単一回答であれば100%)をわずかに上下する場合があります。
- ② 基礎となる数(各属性の該当者数)を、「(n=〇〇〇)」として掲載しており、各比率はnを100%として算出しています。

(2) 基本的属性項目の数値等についてのその他の基本的な事項

- ① 集計は、全体集計、男女集計を行っています。
- ② 集計結果のグラフは、選択肢毎の構成比を表現した合計比率を100%とする円グラフとしています。

(3) 基本的質問項目の数値等についてのその他の基本的な事項

- ① 集計は、全体・性別・各属性の別に行っています(ただし、複数回答の質問では、全体集計のみとなっています)。
- ② 性別集計では、性別・各属性が無回答だった方が含まれていないため、当該属性の基礎となる数nを合算しても全体のnとは一致しません。
- ③ 質問の終わりに「(2つまで)または(3つまで)」とある問は、1人の回答者が1つ以上または2つ以上の回答を出してもよい問です。そのため、当該質問の合計比率は100%を超えたものとなっています。
- ④ 合計比率が100%とならない上記「③」の場合のみ、選択肢毎の回答数による棒グラフとしています。
- ⑤ 文中、グラフ中の選択肢の文言は一部簡略化しています。

(4) 自由記述質問についての基本的な事項

- ① 上下を横線で挟まれた範囲が、同一個人の内容です。なお、回答内容が長文であった場合に、やむを得ず回答が2ページにまたがっている場合があります。
- ② 一部、原文にはない補足を追記した箇所や、絵文字や波線等を別表現で代替した箇所があります。
- ③ 明らかに誤字と判断された箇所は訂正して掲載しています。

## 2 アンケート調査結果の概要

---

## 調査結果

加美町男女共同参画社会に関する町民意識調査は、平成 25 年 11 月に満 20 歳以上の町民の中から無作為で抽出した 1,000 人を対象に実施し、407 人（回収率：40.7%）から回答が寄せられました。

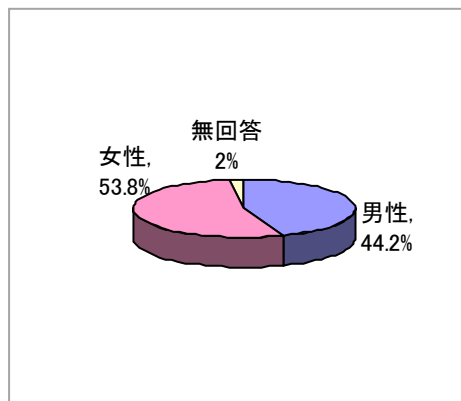
回答結果は以下のとおりです。

### （1）回答者の属性について

#### 問 1. 性別

回答者 407 名のうち、男性が 180 人（44.2%）、女性が 219 人（53.8%）でした。

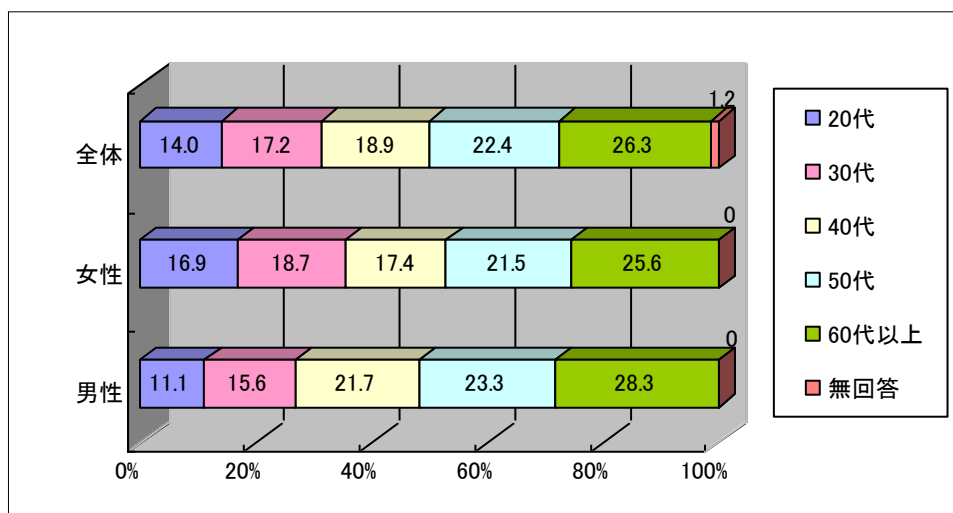
	合計	男性	女性	無回答
全体（人）	407	180	219	8
割合（%）	100.0	44.2	53.8	2.0



#### 問 2. 年齢

回答者の年齢別構成比は、60 代以上が 26.3%と最も多く、最も少ないのは、20 代の 14.0%でした。

		年齢（%）						無回答
		合計	20 代	30 代	40 代	50 代	60 歳以上	
全 体（407）		100.0	14.0	17.2	18.9	22.4	26.3	1.2
性別	女 性（219）	100.0	16.9	18.7	17.4	21.5	25.6	0.0
	男 性（180）	100.0	11.1	15.6	21.7	23.3	28.3	0.0

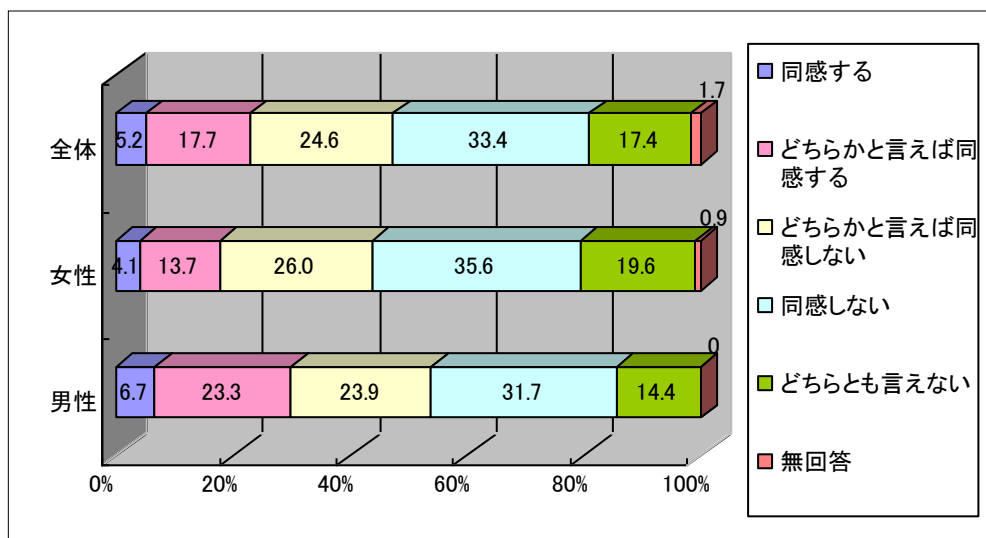


## 【男女平等意識と役割分担について】

### 問3. 「男は仕事、女は家庭」という考え方について

あなたは同感する方ですか。それともしない方ですか。1つ選んでください。

		単位(%)						
		合計	同感する	どちらかといえ ば同感する	どちらかといえ ば同感しない	同感しない	どちらとも いえない	無回答
全体(407)		100.0	5.2	17.7	24.6	33.4	17.4	1.7
性別	女性(219)	100.0	4.1	13.7	26.0	35.6	19.6	0.9
	男性(180)	100.0	6.7	23.3	23.9	31.7	14.4	0



【全体集計】では、「同感しない」が33.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば同感しない」が24.6%、「どちらかといえば同感する」が17.7%でした。「同感しない」「どちらかといえば同感しない」と回答した人は合わせて58.0%、「同感する」「どちらかといえば同感する」と回答した人は合わせて22.9%で「同感しない」「どちらかといえば同感しない」の方が17.1%上回りました。

【性別集計】では、「同感しない」「どちらかといえば同感しない」と回答した人を合わせると、女性は61.6%、男性は55.6%でした。「同感する」「どちらかといえば同感する」と回答した人を合わせると、女性は17.8%、男性は30.0%で、「どちらともいえない」の方が女性は19.6%と少し多くなっています。

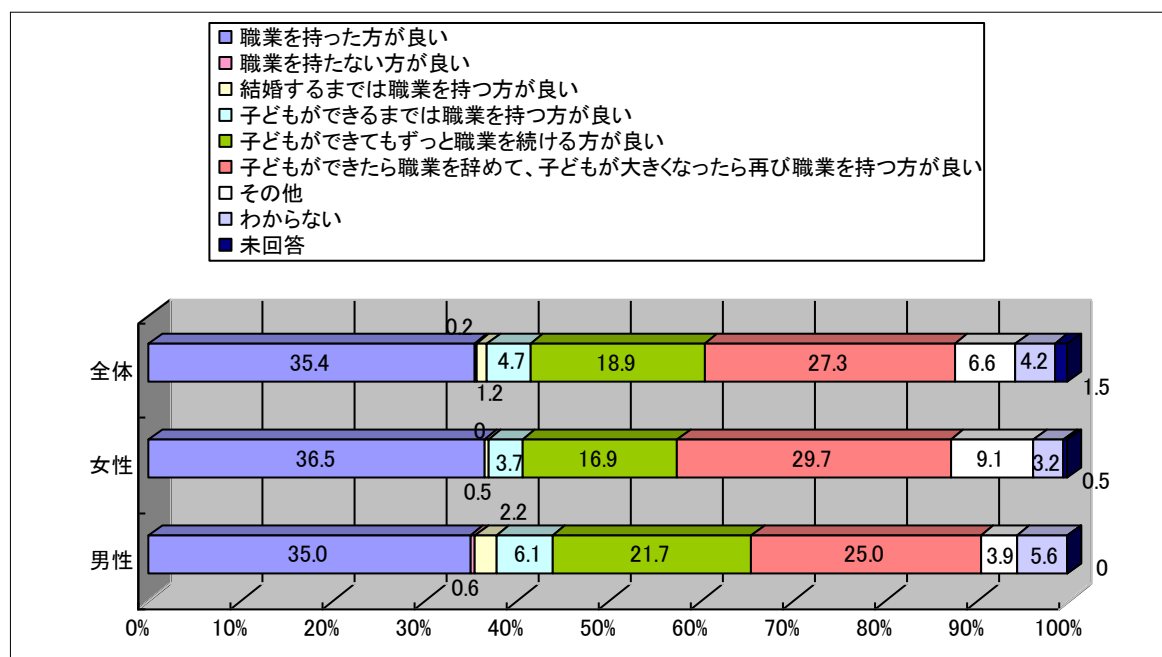


#### 問4. 女性が職業を持つことについて

あなたは、どう思いますか。1つ選んでください。

単位 (%)

		合計	持った方が 良い	持たない方 が良い	結婚するま では持つ方 が良い	子どもがで きるまでは 持つ方が良 い	子どもがで きても続け る方が良い
全体(407)		100.0	35.4	0.2	1.2	4.7	18.9
性別	女性(219)	100.0	36.5	0.0	0.5	3.7	16.9
	男性(180)	100.0	35.0	0.6	2.2	6.1	21.7
		子どもができ たら辞めて、 大きくなっ たら再び持つ 方が良い	その他	わからない	無回答		
全体(407)		27.3	6.6	4.2	1.5		
性別	女性(219)	29.7	9.1	3.2	0.5		
	男性(180)	25.0	3.9	5.6	0.0		



【全体集計】では、「職業を持った方が良い」が35.4%で最も多く、次いで「子どもができたら辞めて、大きくなったら再び職業を持つ方が良い」が27.3%、「子どもができてずっと職業を続ける方が良い」が18.9%でした。

【性別集計】では、「職業を持った方が良い」が最も多く、女性36.5%、男性35.0%でした。次いで、「子どもができたら辞めて、大きくなったら再び職業を持つ方が良い」が、女性29.7%、男性25.0%、「子どもができてずっと職業を続ける方が良い」が、女性16.9%、男性21.7%でした。

## 【その他記述】

- ・辞めて《-実際は波線-》ではなく育児休暇等の利用で子育てが一段落したら復帰する。
- ・それぞれの家庭状況による。
- ・どうも思わない。その人の勝手。
- ・本人次第。
- ・ケースバイケースだと思います。
- ・自分の用途に合わせて。
- ・好きにしたら良いと思う。
- ・ケースバイケースで家庭の事情によるものだと思います。
- ・1度休業し2, 3歳になったら復帰。
- ・女性が好きにしたら良い。
- ・長期の育児休暇が認められると良い。例えば子どもが中学卒業まで。
- ・ケースバイケースで、本人の意思を尊重すればいいと思う。
- ・当人、家族、環境等により一概には言えないと思う。
- ・家庭の事情だと思う。
- ・個人の事情があるのでどちらとも言えない。
- ・本人の希望を優先。それぞれの個性や事情があるので、女性をひとくくりにこたえられない。
- ・個人、家庭による。
- ・質問自体が「女を家庭」を前提にしているものと感じられます。
- ・職業を持ちたいと希望していて、働ける環境が整っているのなら、職業を持てばいいと思います。
- ・お金のかかる時代になり、女性も職業を持たなければならない時代になったので持つべきなんだろうけど、子育ての関係では子ども（小さいうち）が可愛いそうだ。
- ・子どもがいてもいなくても仕事をしたい人はすればいいし、したくない人はしなくてもいいと思います。
- ・女性も職業を持った方が良いが、子どもが小さいうち、育休を有効に使って働き続ける方が良い。
- ・夫の収入だけで生活できるのであれば、子どもが小さいうちは一緒に居てあげる方がいいと思うが、それが難しければ職業を持つのは仕方がない。
- ・産休・育休等を利用したり、家族の手が多ければ頼りにしたり、保育所を利用したり、家族の協力の元職業が続けられると思います。
- ・6の内容のうち、職業を辞めてではなく、育休がとれるようになればよい。勤務する会社が行うようにする。
- ・景気が悪いと結婚後も自分の意志とは関係なく仕事をしなくてはいけないので、どれにも当てはまらない。質問は現実的ではない。

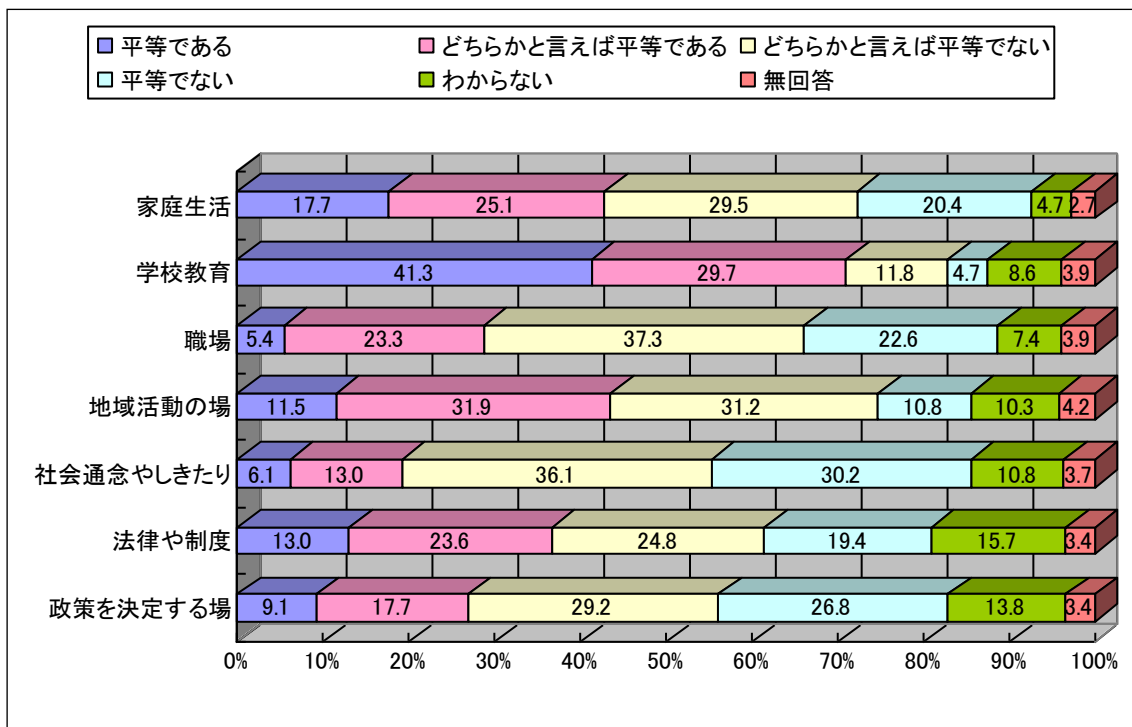
## 問5. 男女の地位について

各分野で、男女の地位が平等になっていると思いますか。それとも平等ではないと思いますか。

全体

単位：（％）

	合計	平等である	どちらかと言えば平等である	どちらかと言えば平等でない	平等でない	わからない	無回答
家庭生活	100.0	17.7	25.1	29.5	20.4	4.7	2.7
学校教育	100.0	41.3	29.7	11.8	4.7	8.6	3.9
職場	100.0	5.4	23.3	37.3	22.6	7.4	3.9
地域活動の場	100.0	11.5	31.9	31.2	10.8	10.3	4.2
社会通念やしきたり	100.0	6.1	13.0	36.1	30.2	10.8	3.7
法律や制度	100.0	13.0	23.6	24.8	19.4	15.7	3.4
政策を決定する場	100.0	9.1	17.7	29.2	26.8	13.8	3.4



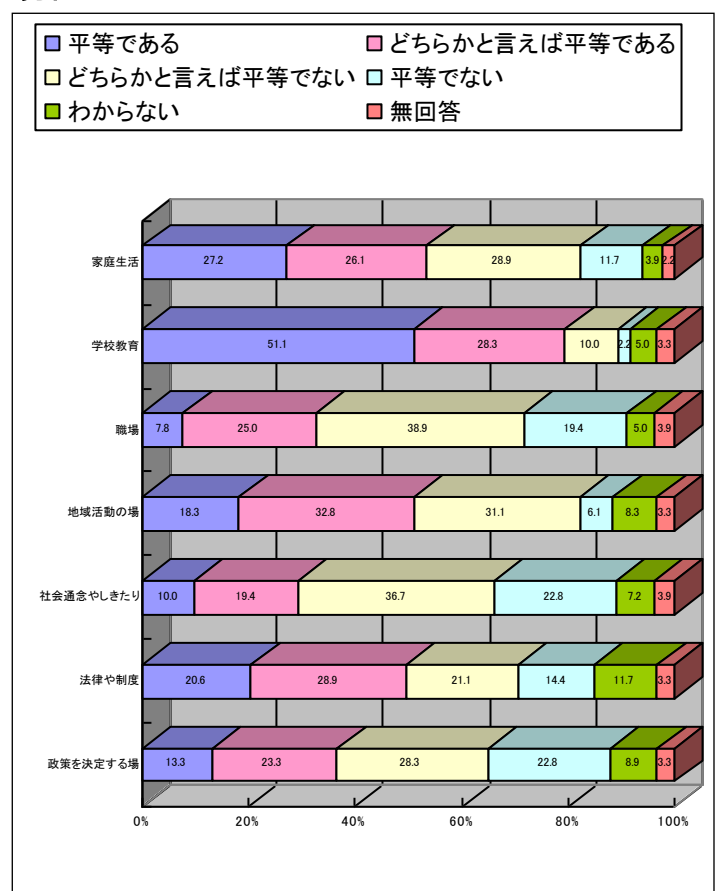
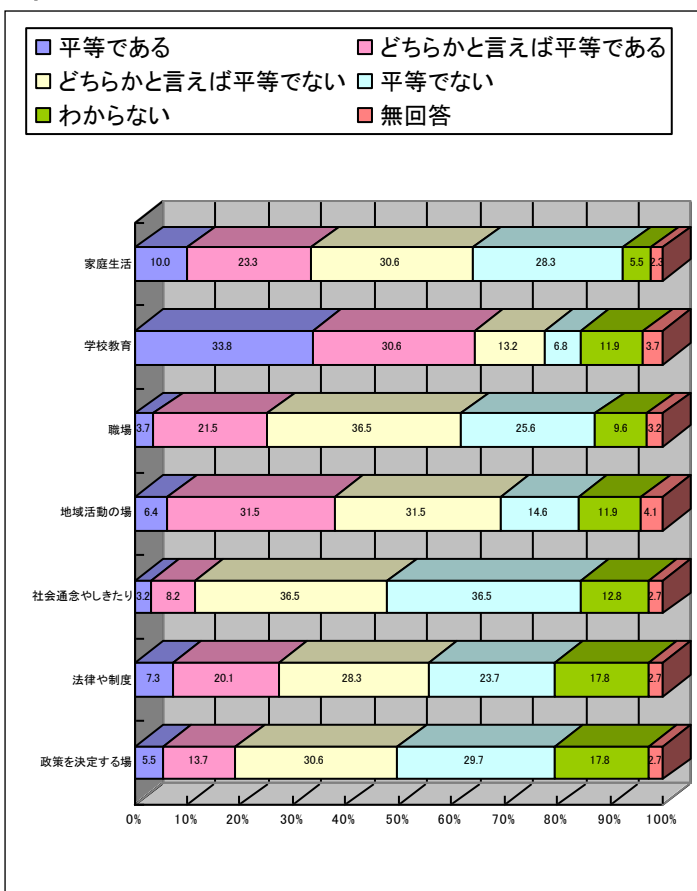
男女

単位 (%)

		合計	平等である	どちらかと言え ば平等である	どちらかと言え ば平等でない	平等でない	わからない	無回答
家庭生活	女	100.0	10.0	23.3	30.6	28.3	5.5	2.3
	男	100.0	27.2	26.1	28.9	11.7	3.9	2.2
学校教育	女	100.0	33.8	30.6	13.2	6.8	11.9	3.7
	男	100.0	51.1	28.3	10.0	2.2	5.0	3.3
職場	女	100.0	3.7	21.5	36.5	25.6	9.6	3.2
	男	100.0	7.8	25.0	38.9	19.4	5.0	3.9
地域活動の場	女	100.0	6.4	31.5	31.5	14.6	11.9	4.1
	男	100.0	18.3	32.8	31.1	6.1	8.3	3.3
社会通や しきたり	女	100.0	3.2	8.2	36.5	36.5	12.8	2.7
	男	100.0	10.0	19.4	36.7	22.8	7.2	3.9
法律や 制度	女	100.0	7.3	20.1	28.3	23.7	17.8	2.7
	男	100.0	20.6	28.9	21.1	14.4	11.7	3.3
政策を決 定する場	女	100.0	5.5	13.7	30.6	29.7	17.8	2.7
	男	100.0	13.3	23.3	28.3	22.8	8.9	3.3

女性

男性



**【全体集計】**では、「平等である」「どちらかと言えば平等である」の意見が最も多かったのは、「学校教育」が71.0%でした。また、「どちらかと言えば平等でない」「平等でない」の意見の方が多かったのは、「社会通念やしきたり」で66.3%、「平等である」「どちらかと言えば平等である」19.1%の結果よりも47.2%も上回っています。次いで「職場」31.2%、「政策を決定する場」29.2%、「法律や制度」7.6%、「家庭生活」7.1%といずれも「どちらかと言えば平等でない」「平等でない」という意見が上回る結果となっています。

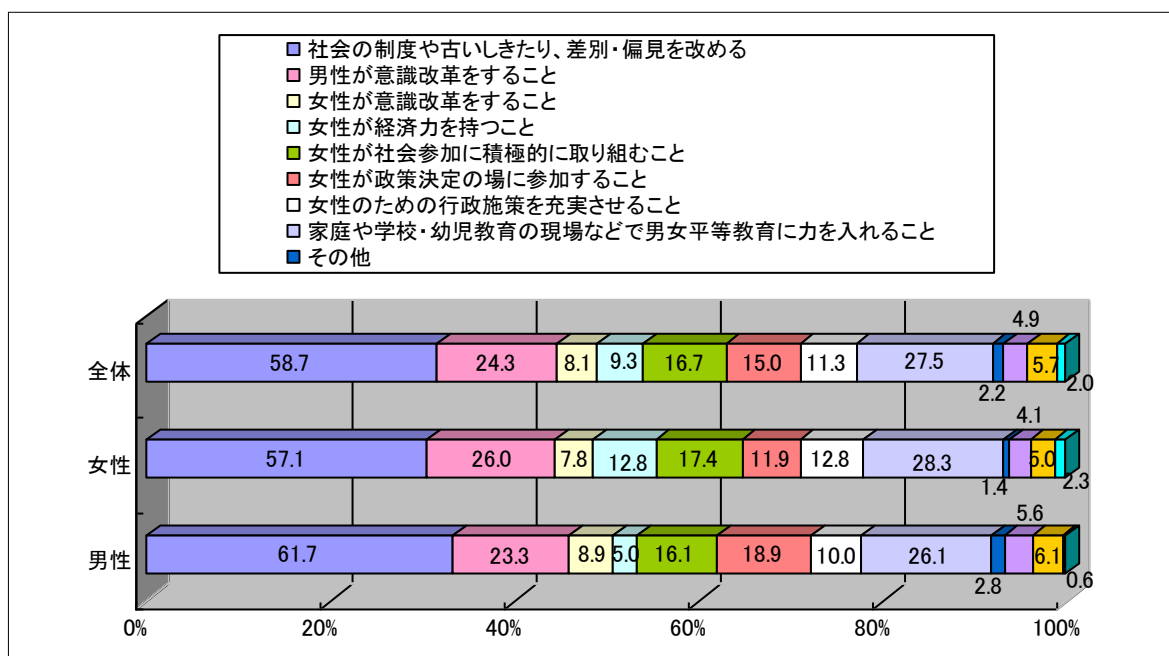
**【性別集計】**では、「平等である」「どちらかと言えば平等である」が最も多かったのは、共に「学校教育」で女性64.4%、男性79.3%でした。また、「どちらかと言えば平等でない」「平等でない」の意見の方が多かったのは、「社会通念やしきたり」女性73.0%、男性59.5%でした。性別集計においても、「どちらかと言えば平等でない」「平等でない」という意見が上回る結果となっています。

### 問6. 男女平等の重要性について

社会のあらゆる分野で男女の地位が平等になるためには、どのようなことが重要だと思いますか。  
2つまで選んでください。

単位 (%)

		合計	社会の制度や古いしきたり、差別・偏見を改めること	男性が意識を改革すること	女性が意識を改革すること	女性が経済力を持つこと	女性が社会参加に積極的に取り組むこと	女性が政策決定の場に参加すること
全体(407)		100.0	58.7	24.3	8.1	9.3	16.7	15.0
性別	女性(219)	100.0	57.1	26.0	7.8	12.8	17.4	11.9
	男性(180)	100.0	61.7	23.3	8.9	5.0	16.1	18.9
		女性のための行政施策を充実させること	家庭や学校・幼児教育の現場などで、男女平等教育に力を入れること	その他	現状のままが良い	わからない	無回答	
全体(407)		11.3	27.5	2.2	4.9	5.7	2.0	
性別	女性(219)	12.8	28.3	1.4	4.1	5.0	2.3	
	男性(180)	10.0	26.1	2.8	5.6	6.1	0.6	



【全体集計】では、「社会の制度や古いしきたり、差別・偏見を改める」が58.7%と最も多く、次いで「家庭や学校・幼児教育の現場などで男女平等教育に力を入れること」27.5%、「男性が意識改革をすること」24.3%でした。

【性別集計】では、「社会の制度や古いしきたり、差別・偏見を改める」が共に最も多く、女性57.1%、男性61.7%、次いで「家庭や学校・幼児教育の現場などで男女平等教育に力を入れること」女性28.3%、男性26.1%、「男性が意識改革をすること」女性26.0%、男性23.3%でした。

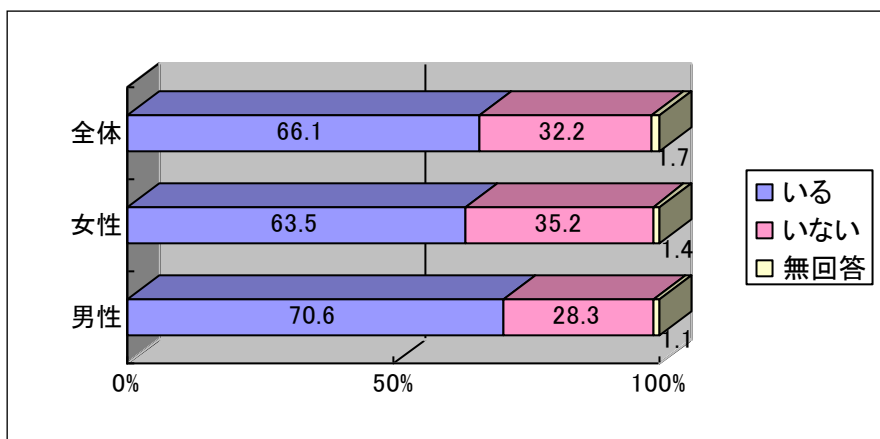
#### 【その他記述】

- ・無理に平等にする必要はない。男がもっと力を発揮すべきだと思う。
- ・男女の特性があるので全て平等にとは。
- ・男女と言わず人々の意識改革。
- ・子どもの中学校入学までの期間の対応方法。
- ・そもそも人と人が平等でなければならないと思っており、また、平等の価値観も人それぞれです。更には平等でないからこそ成り立っている世の中だと私は思います。

問7. 配偶者の有無について

あなたには、現在配偶者がいらっしゃいますか。

		単位:(%)			
		合計	いる	いない	無回答
全体 (407)		100.0	66.1	32.2	1.7
性別	女性 (219)	100.0	63.5	35.2	1.4
	男性 (180)	100.0	70.6	28.3	1.1



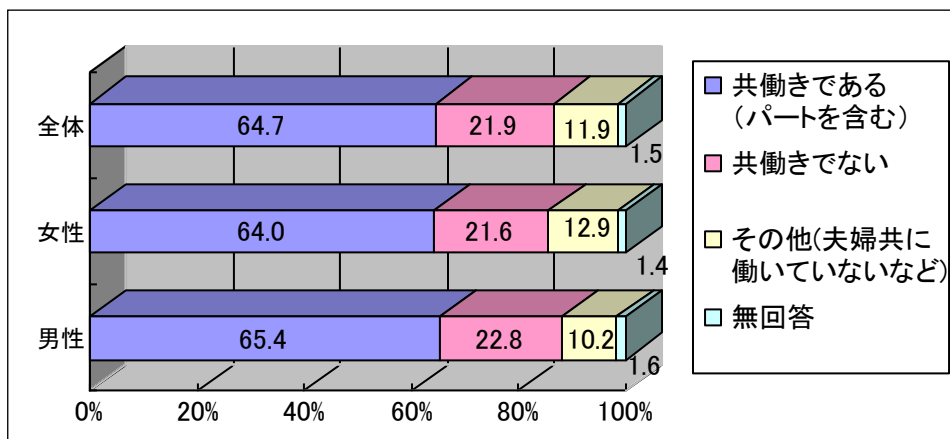
【全体集計】では、回答者 407 人のうち「いる」と答えた方は 269 人 (66.1%)、「いない」と答えた方は 131 人 (32.2%)、無回答は 7 人 (1.7%) でした。

【性別集計】では、「いる」と回答した人は女性 139 人 (63.5%)、男性は 127 人 (70.6%)、「いない」と回答した人は女性 77 人 (35.2%)、男性 51 人 (28.3%) でした。



問7-1. あなたと配偶者の方とは、「共働き」ですか。（「配偶者がいる」と答えた方だけ。）

		単位 (%)				
		合計	共働きである (パートを含む)	共働きでない	その他(夫婦共に働いていないなど)	無回答
全体 (269)		100.0	64.7	21.9	11.9	1.5
性別	女性 (139)	100.0	64.0	21.6	12.9	1.4
	男性 (127)	100.0	65.4	22.8	10.2	1.6

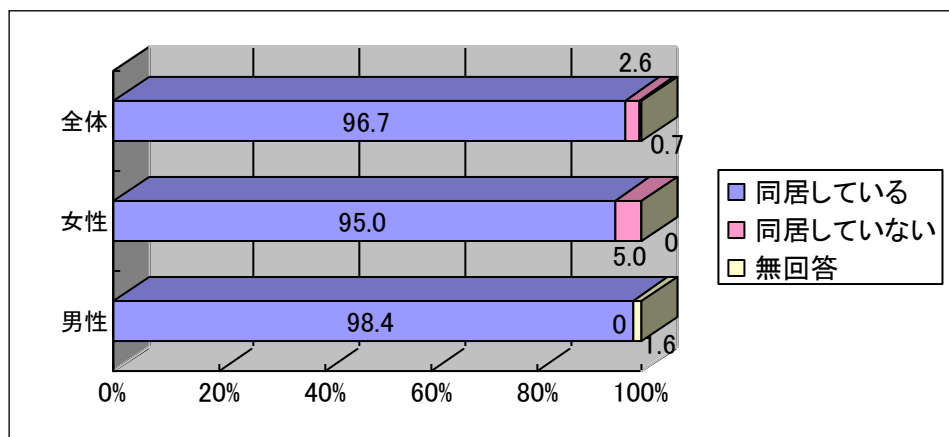


【全体集計】では、回答者269人のうち「共働きである」と答えた方は174人(64.7%)、「共働きでない」と答えた方は59人(21.9%)でした。

【性別集計】では、「共働きである」と回答した人は女性89人(64.0%)、男性83人(65.4%)、「共働きでない」と回答した人は女性30人(21.6%)、男性29人(22.8%)でした。

問7-2. あなたは、現在配偶者と同居していますか。（「配偶者がいる」と答えた方だけ。）

		単位（％）			
		合計	同居している	同居していない	無回答
全体（269）		100.0	96.7	2.6	0.7
性別	女性（139）	100.0	95.0	5.0	0.0
	男性（127）	100.0	98.4	0.0	1.6



【全体集計】では、回答者269人のうち「同居している」と答えた方は260人（96.7%）、「同居していない」と答えた方は7人（2.6%）でした。

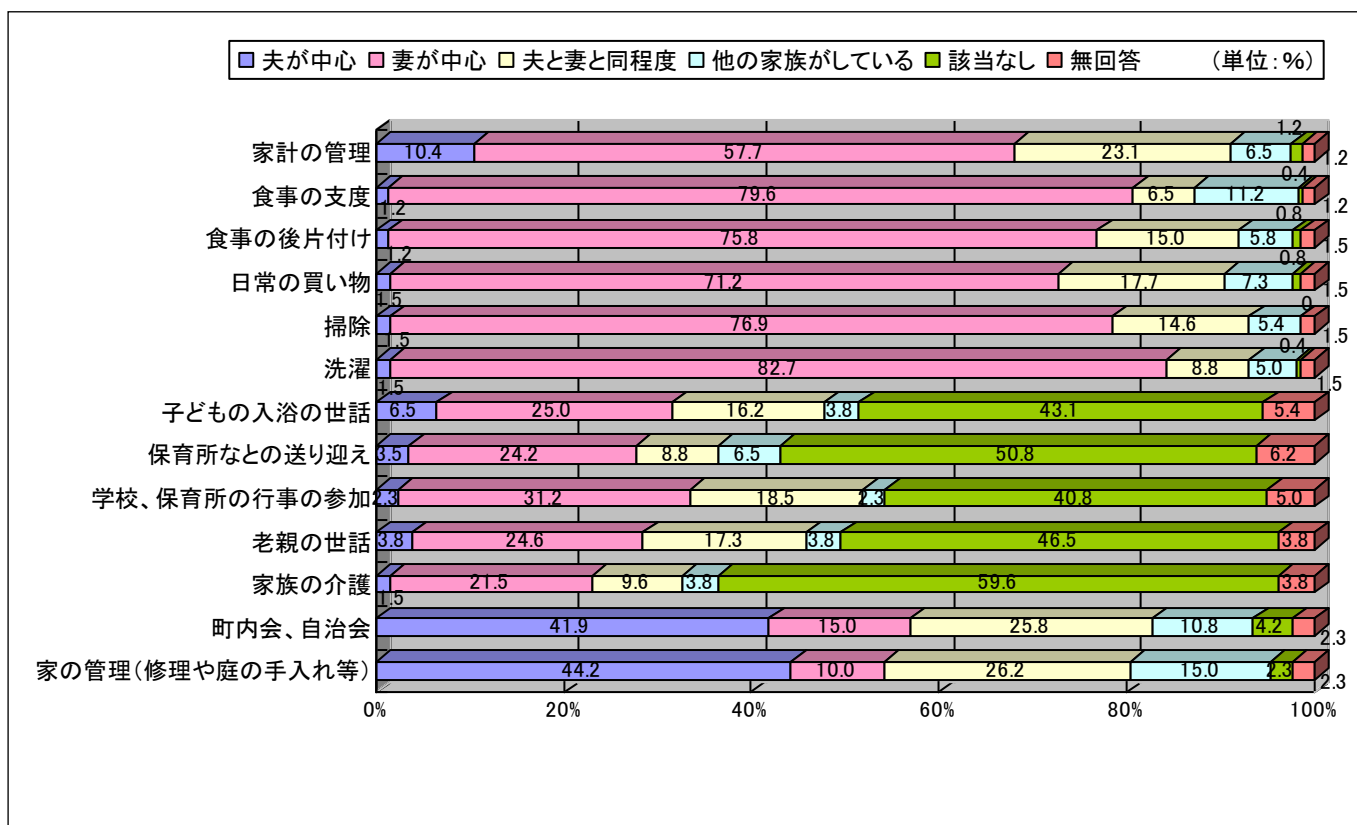
【性別集計】では、「同居している」と回答した人は女性132人（95.0%）、男性125人（98.4%）、「同居していない」と回答した人は女性7人（5.0%）、男性0人（0.0%）でした。

問7-3. 日常的な事柄は、実際にあなたの家庭では夫と妻のどちらが中心に行っていますか。(「配偶者と同居している」と答えた方だけ。)

全体

単位 (%)

	合計	夫が中心	妻が中心	夫と妻と同程度	他の家族がしている	該当なし	無回答
家計の管理	100.0	10.4	57.7	23.1	6.5	1.2	1.2
食事の支度	100.0	1.2	79.6	6.5	11.2	0.4	1.2
食事の後片付け	100.0	1.2	75.8	15.0	5.8	0.8	1.5
日常の買い物	100.0	1.5	71.2	17.7	7.3	0.8	1.5
掃除	100.0	1.5	76.9	14.6	5.4	0.0	1.5
洗濯	100.0	1.5	82.7	8.8	5.0	0.4	1.5
子どもの入浴の世話	100.0	6.5	25.0	16.2	3.8	43.1	5.4
保育所などの 送り迎え	100.0	3.5	24.2	8.8	6.5	50.8	6.2
学校、保育所の 行事の参加	100.0	2.3	31.2	18.5	2.3	40.8	5.0
老親の世話	100.0	3.8	24.6	17.3	3.8	46.5	3.8
家族の介護	100.0	1.5	21.5	9.6	3.8	59.6	3.8
町内会、自治会	100.0	41.9	15.0	25.8	10.8	4.2	2.3
家の管理(修理や庭 の手入れなど)	100.0	44.2	10.0	26.2	15.0	2.3	2.3

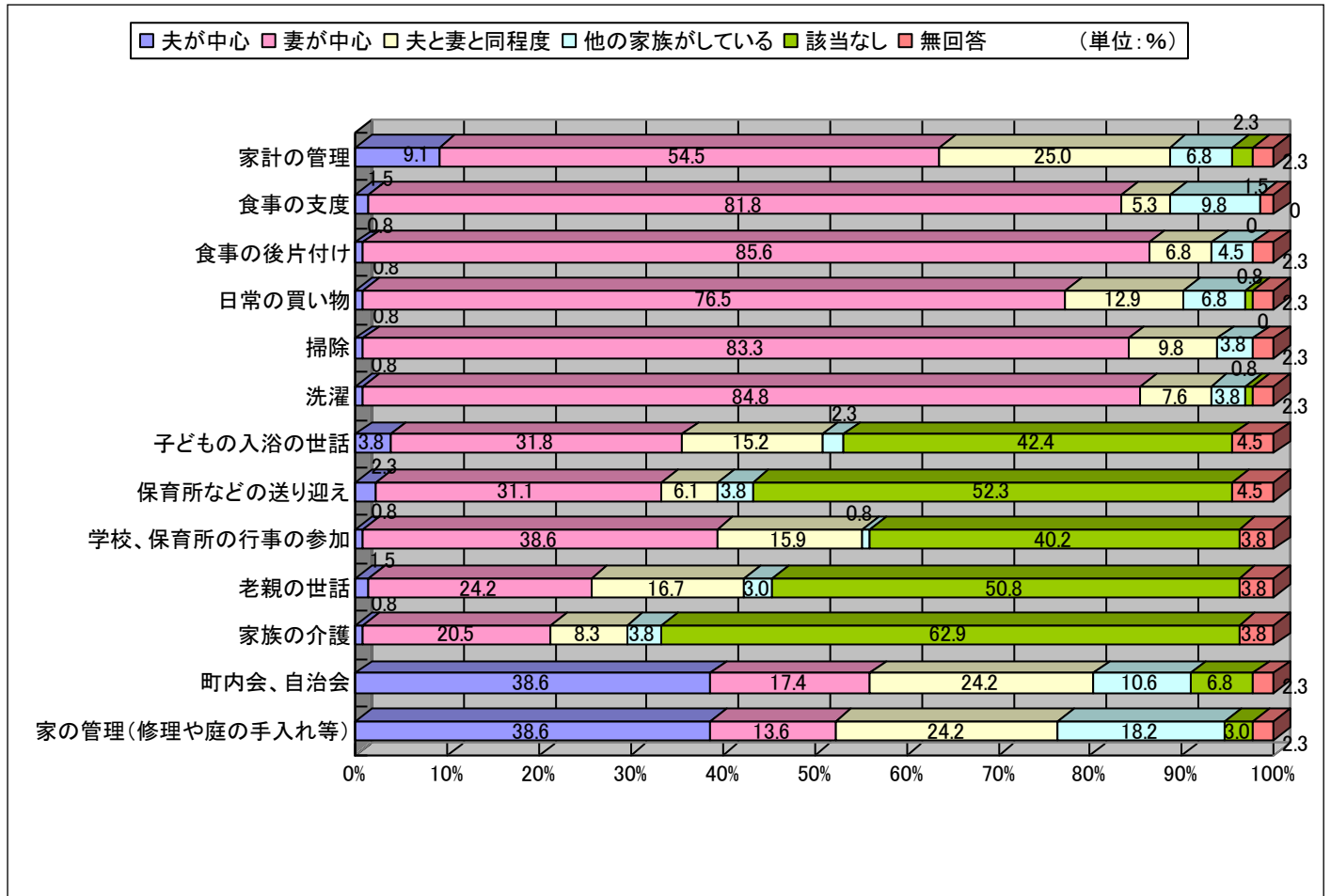


## 男女

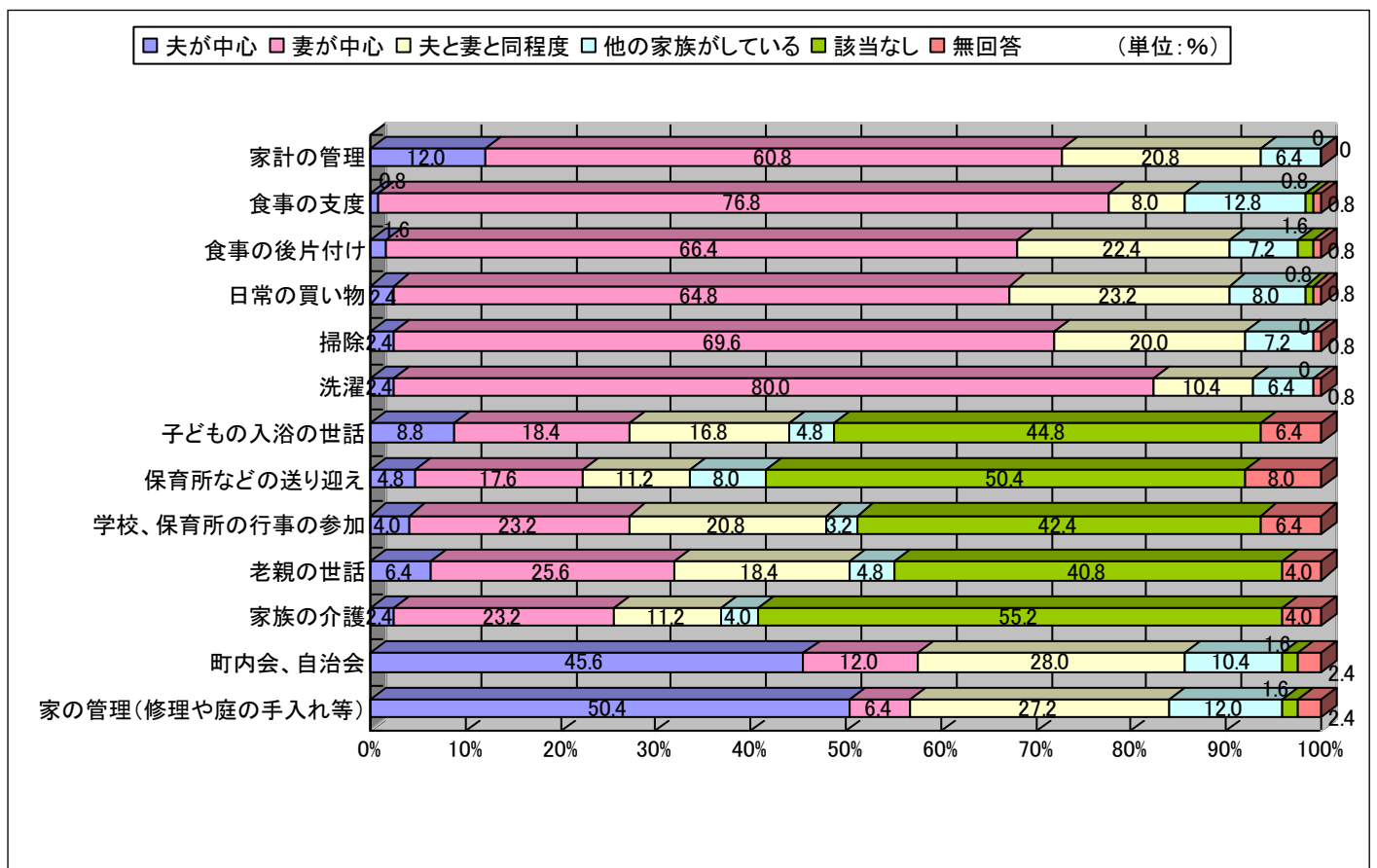
単位 (%)

		合計	夫が中心	妻が中心	夫と妻と同 程度	他の家族が している	該当なし	無回答
家計の管理	女	100.0	9.1	54.5	25.0	6.8	2.3	2.3
	男	100.0	12.0	60.8	20.8	6.4	0.0	0.0
食事の支度	女	100.0	1.5	81.8	5.3	9.8	0.0	1.5
	男	100.0	0.8	76.8	8.0	12.8	0.8	0.8
食事の 後片付け	女	100.0	0.8	85.6	6.8	4.5	0.0	2.3
	男	100.0	1.6	66.4	22.4	7.2	1.6	0.8
日常の買い物	女	100.0	0.8	76.5	12.9	6.8	0.8	2.3
	男	100.0	2.4	64.8	23.2	8.0	0.8	0.8
掃 除	女	100.0	0.8	83.3	9.8	3.8	0.0	2.3
	男	100.0	2.4	69.6	20.0	7.2	0.0	0.8
洗 濯	女	100.0	0.8	84.8	7.6	3.8	0.8	2.3
	男	100.0	2.4	80.0	10.4	6.4	0.0	0.8
子どもの 入浴の世話	女	100.0	3.8	31.8	15.2	2.3	42.4	4.5
	男	100.0	8.8	18.4	16.8	4.8	44.8	6.4
保育所などの送り 迎え	女	100.0	2.3	31.1	6.1	3.8	52.3	4.5
	男	100.0	4.8	17.6	11.2	8.0	50.4	8.0
学校、保育所の行 事の参加	女	100.0	0.8	38.6	15.9	0.8	40.2	3.8
	男	100.0	4.0	23.2	20.8	3.2	42.4	6.4
老親の世話	女	100.0	1.5	24.2	16.7	3.0	50.8	3.8
	男	100.0	6.4	25.6	18.4	4.8	40.8	4.0
家族の介護	女	100.0	0.8	20.5	8.3	3.8	62.9	3.8
	男	100.0	2.4	23.2	11.2	4.0	55.2	4.0
町内会、 自治会	女	100.0	38.6	17.4	24.2	10.6	6.8	2.3
	男	100.0	45.6	12.0	28.0	10.4	1.6	2.4
家の管理（修理や 庭の手入れ等）	女	100.0	38.6	13.6	24.2	18.2	3.0	2.3
	男	100.0	50.4	6.4	27.2	12.0	1.6	2.4

## 女性



## 男性



**【全体集計】**では、「家計の管理」57.7%、「食事の支度」79.6%、「食事の後片付け」75.8%、「日常の買い物」71.2%、「掃除」76.9%、「洗濯」82.7%と高い割合で「妻が中心」と回答しており、「町内会、自治会」41.9%、家の管理（修理や庭の手入れ等）44.2%が「夫が中心」と回答しています。

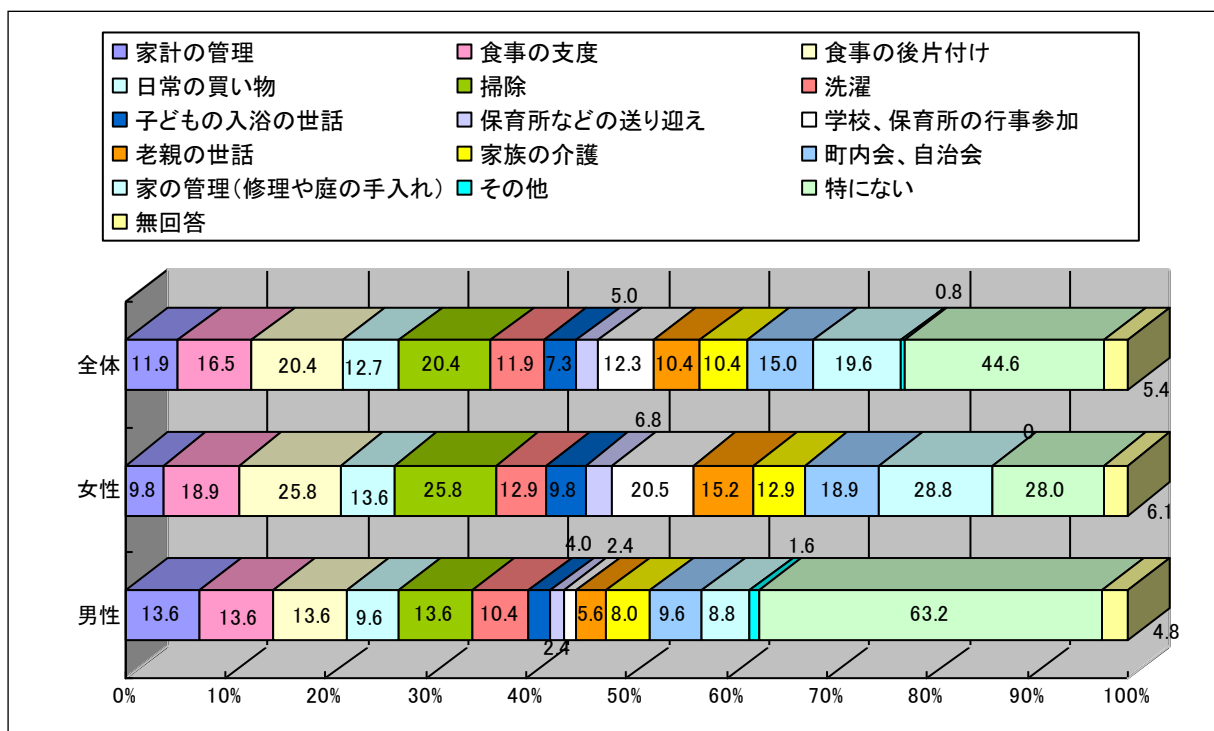
**【性別集計】**では、共に「家計の管理」女性54.5%、男性60.8%、「食事の支度」女性81.8%、男性76.8%、「食事の後片付け」女性85.6%、男性66.4%、「日常の買い物」女性76.5%、男性64.8%、「掃除」女性83.3%、男性69.6%、「洗濯」女性84.8%、男性80.0%と高い割合で「妻が中心」と回答しており、「町内会、自治会」女性38.6%、男性45.6%、家の管理（修理や庭の手入れ等）女性38.6%、男性50.4%が「夫が中心」と回答しています。

問7-4. あなたが日頃、もっと夫や妻に分担してもらいたいと思っていることは何ですか。  
 (「配偶者と同居している」と答えた方だけ。複数回答)

全体

単位 (%)

		単位 (%)								
		合計	家計の管理	食事の支度	食事の後片付け	日常の買い物	掃除	洗濯	子供の入浴の世話	保育所などの送り迎え
全体 (260)		100.0	11.9	16.5	20.4	12.7	20.4	11.9	7.3	5.0
性別	女性 (132)	100.0	9.8	18.9	25.8	13.6	25.8	12.9	9.8	6.8
	男性 (125)	100.0	13.6	13.6	13.6	9.6	13.6	10.4	4.0	2.4
		学校、保育所の行事参加	老親の世話	家族の介護	町内会、自治会	家の管理(修理や庭の手入れ等)	その他	特にない	無回答	
全体 (260)		12.3	10.4	10.4	15.0	19.6	0.8	44.6	5.4	
性別	女性 (132)	20.5	15.2	12.9	18.9	28.8	0.0	28.0	6.1	
	男性 (125)	2.4	5.6	8.0	9.6	8.8	1.6	63.2	4.8	



【全体集計】では、「特にない」が最も多く44.6%、次いで「食事の後片付け」と「掃除」が共に20.4%、「学校、保育所の行事参加」が19.6%でした。

【性別集計】では、女性は「学校、保育所の行事参加」が28.8%、次いで「特にない」28.0%、「食事の後片付け」と「掃除」が共に25.8%でした。男性は「特にない」が63.2%、次いで「家計の管理」「食事の支度」「食事の後片付け」「掃除」が共に13.6%、「洗濯」10.4%でした。

**【その他記述】**

- ・子どもとの会話。
- ・いつもありがたく思っている。

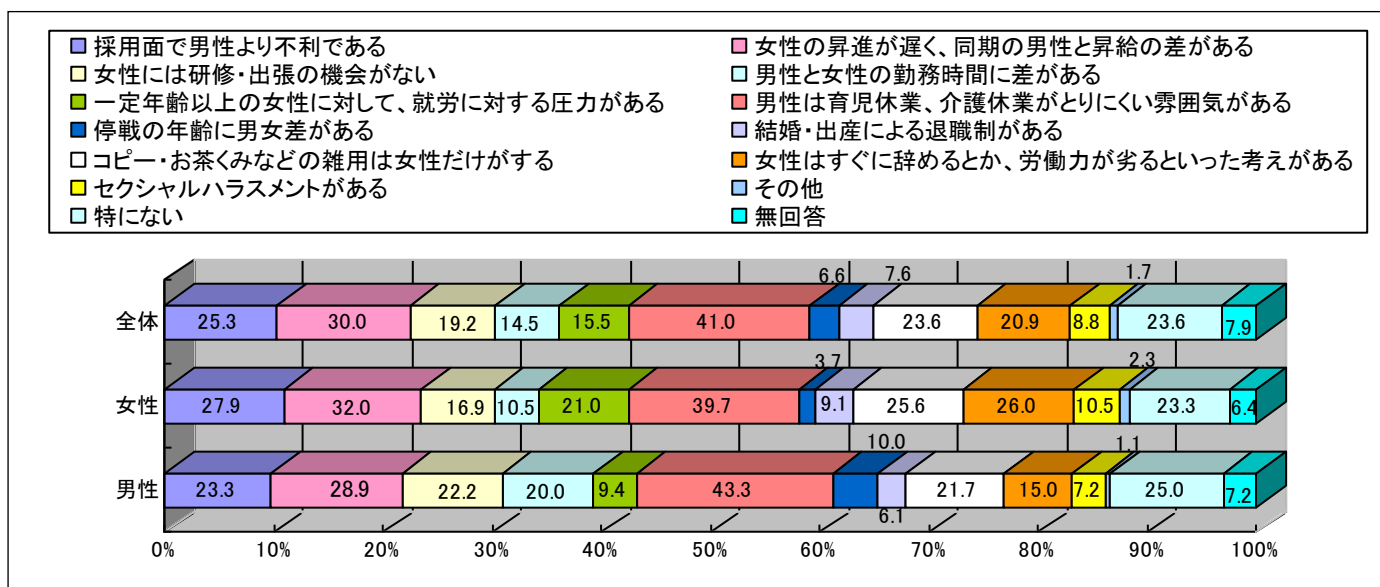


## 【職業観などの意識について】

### 問8. 職場での女性の立場について

あなたの今の職場または以前働いていた職場、家族や友人が働いている職場などで、あてはまるものをすべて選んでください。

		単位 (%)								
		合計	採用面で女性より不利である	女性の昇進が遅く同期の男性との昇給の差がある	女性には研修・出張の機会が少ない	男性と女性の勤務時間に差がある。	一定年齢以上の女性に対して、就労に対する圧力がある	男性は育児休業や介護休業が取りにくい雰囲気がある	定年の年齢に男女差がある	結婚・出産による退職制がある
全体 (407)		100.0	25.3	30.0	19.2	14.5	15.5	41.0	6.6	7.6
性別	女性 (219)	100.0	27.9	32.0	16.9	10.5	21.0	39.7	3.7	9.1
	男性 (180)	100.0	23.3	28.9	22.2	20.0	9.4	43.3	10.0	6.1
			コピー、お茶くみなどの雑用は女性だけがする	女性がすぐに辞めるとか、労働力が劣るといった考えがある	セクシャルハラスメントがある	その他	特にない	無回答		
全体 (407)		23.6	20.9	8.8	1.7	23.6	7.9			
性別	女性 (219)	25.6	26.0	10.5	2.3	23.3	6.4			
	男性 (180)	21.7	15.0	7.2	1.1	25.0	7.2			



【全体集計】では、「男性は育児休業、介護休業がとりにくい雰囲気がある」が最も多く、41.0%でした。次いで「女性の昇進が遅く、同期の男性と昇給の差がある」30.0%、「採用面で男性より不利である」25.3%でした。

【性別集計】では、「男性は育児休業、介護休業がとりにくい雰囲気がある」が共に最も多く、女性32.0%、男性13.6%、次いで「女性の昇進が遅く、同期の男性と昇給の差がある」が女性32.0%、男性28.9%、「採用面で男性より不利である」が女性27.9%、男性は「特にない」が25.0%でした。

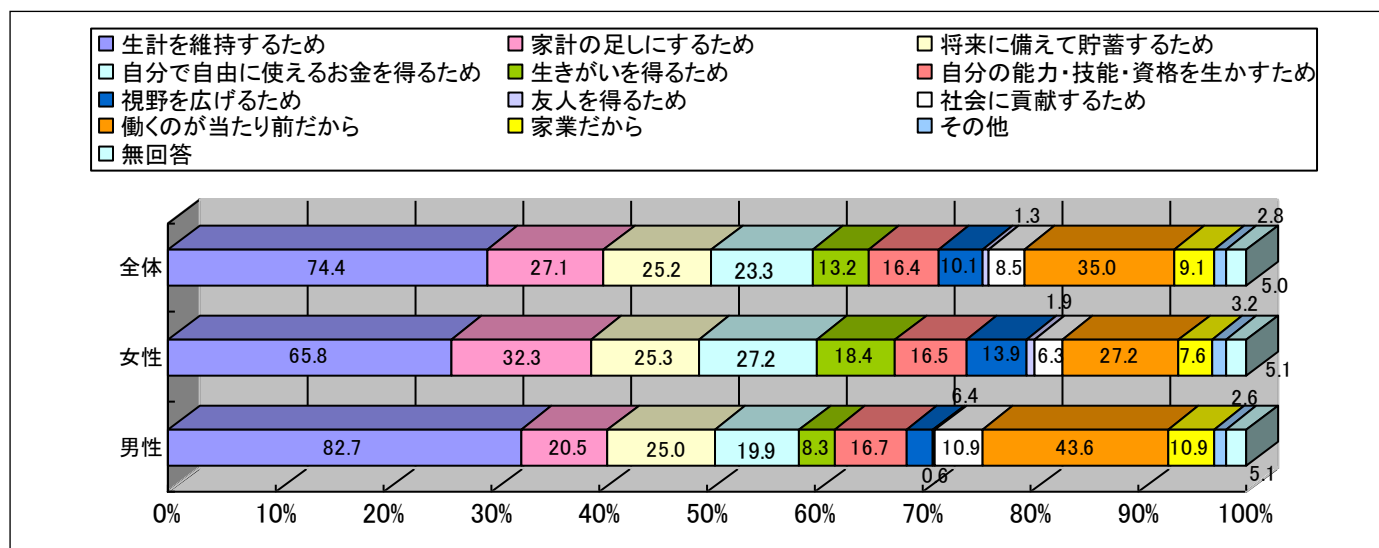
#### 【その他記述】

- ・わからない。
- ・パワーハラスメント。
- ・パワハラ！特に能力の高い女性には、女のくせに等の風当たりが強い。
- ・給料が遅れる。パワハラ有り。有休なし。
- ・全職場は、男性が9割、今の職場は女性が8割で職場によって就労状況、雇用体系が異なる。
- ・出産後、子どものことで休みを取るのが難しい。理解してくれる人が（子育てを経験している方以外）少なく「また？」という感じが多い。
- ・管理者の暴言が多い。いじめが多い（会社は見て見ぬふりで、対応処理をしない）。
- ・うつ病患者が続出している。50歳を目途に給料（基本給）を引き下げ金額がひどい。

## 問9. 働く理由について

あなたが現在働いている理由をあげてください。(現在働いている方だけ。3つまで。)

		単位 (%)									
		合計	生計を維持するため	家計費の足しにするため	将来に備えて貯蓄するため	自分で自由に使えるお金を得るため	生きがいを得るため	自分の能力・技能・資格を生かすため	視野を広げるため	友人を得るため	
全体 (317)		100.0	74.4	27.1	25.2	23.3	13.2	16.4	10.1	1.3	
性別	女性 (158)	100.0	65.8	32.3	25.3	27.2	18.4	16.5	13.9	1.9	
	男性 (156)	100.0	82.7	20.5	25.0	19.9	8.3	16.7	6.4	0.6	
			社会に貢献するため	働くのが当たり前だから	家業だから	その他	無回答				
全体 (260)		8.5	35.0	9.1	2.8	5.0					
性別	女性 (132)	6.3	27.2	7.6	3.2	5.1					
	男性 (125)	10.9	43.6	10.9	2.6	5.1					



【全体集計】では、「生計を維持するため」が最も多く74.4%、次いで「働くのが当たり前だから」35.0%、「家計の足しにするため」27.1%でした。

【性別集計】では、「生計を維持するため」が共に多く、女性65.8%、男性82.7%、次いで女性は「家計の足しにするため」32.3%、「自分で自由に使えるお金を得るため」と「働くのが当たり前だから」が同じく27.2%、男性は「働くのが当たり前だから」43.6%、「将来に備えて貯蓄するため」25.0%でした。

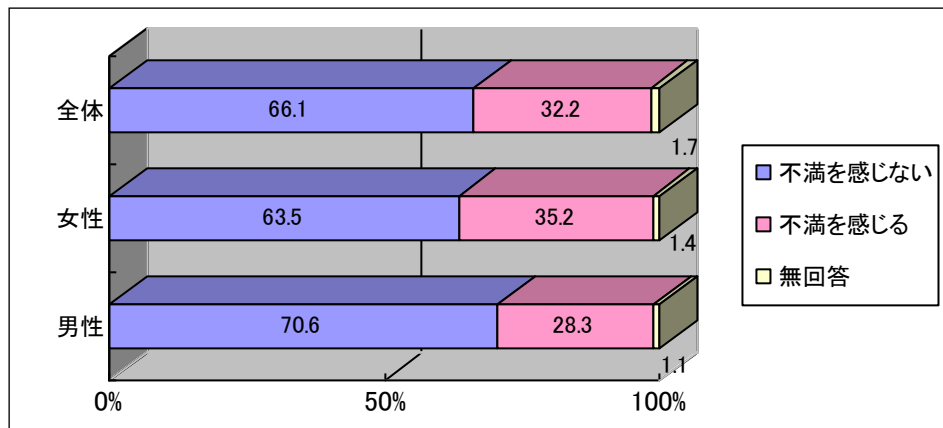
### 【その他記述】

- ・子どもを育てるため。
- ・働かないと暇になるため。
- ・子どものため。
- ・子どもの学業のため。

問10. 仕事に対する不満について

あなたは、現在の仕事に不満を感じますか。

		単位：(%)			
		合計	不満を感じない	不満を感じる	無回答
全体 (317)		100.0	66.1	32.2	1.7
性別	女性 (158)	100.0	63.5	35.2	1.4
	男性 (156)	100.0	70.6	28.3	1.1

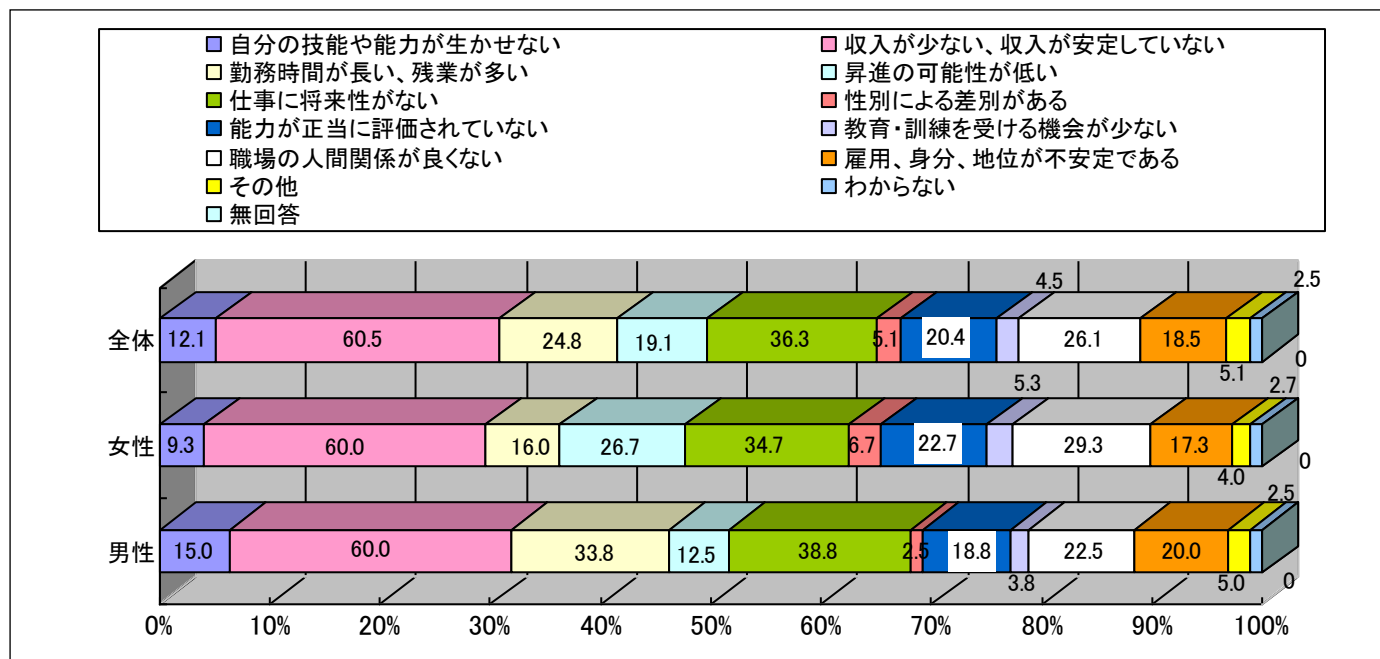


【全体集計】では、「不満を感じない」が66.1%、「不満を感じる」が32.2%、「無回答」が1.7%でした。

【性別集計】では、「不満を感じない」が共に多く、女性63.5%、男性70.6%、「不満を感じる」女性35.2%、男性28.3%、「無回答」女性1.4%、男性1.1%でした。

問10-1. 何に不満を感じますか。(「不満を感じる」3つまで。)

		単位 (%)								
		合計	自分の技能や能力が生かされていない	収入が少ない、収入が安定していない	勤務時間が長い、残業が多い	昇進の可能性が低い	仕事に将来性がない	性別による差別がある	能力が正當に評価されていない	教育・訓練を受ける機会が少ない
全体 (157)		100.0	12.1	60.5	24.8	19.1	36.3	5.1	20.4	4.5
性別	女性 (75)	100.0	9.3	60.0	16.0	26.7	34.7	6.7	22.7	5.3
	男性 (80)	100.0	15.0	60.0	33.8	12.5	38.8	2.5	18.8	3.8
			職場の人間関係が良くない	雇用、身分、地位が不安定である	その他	わからない	無回答			
全体 (260)		26.1	18.5	5.1	2.5	0.0				
性別	女性 (132)	29.3	17.3	4.0	2.7	0.0				
	男性 (125)	22.5	20.0	5.0	2.5	0.0				



【全体集計】では、「収入が少ない、収入が安定していない」が最も多く、60.5%、次いで「仕事に将来性がない」36.3%、「職場の人間関係が良くない」26.1%でした。

【性別集計】では、「収入が少ない、収入が安定していない」が共に60.0%でした。女性は「仕事に将来性がない」34.7%、「職場の人間関係は良くない」29.3%、男性は「仕事に将来性がない」38.8%、「勤務時間が長い、残業が多い」33.8%でした。

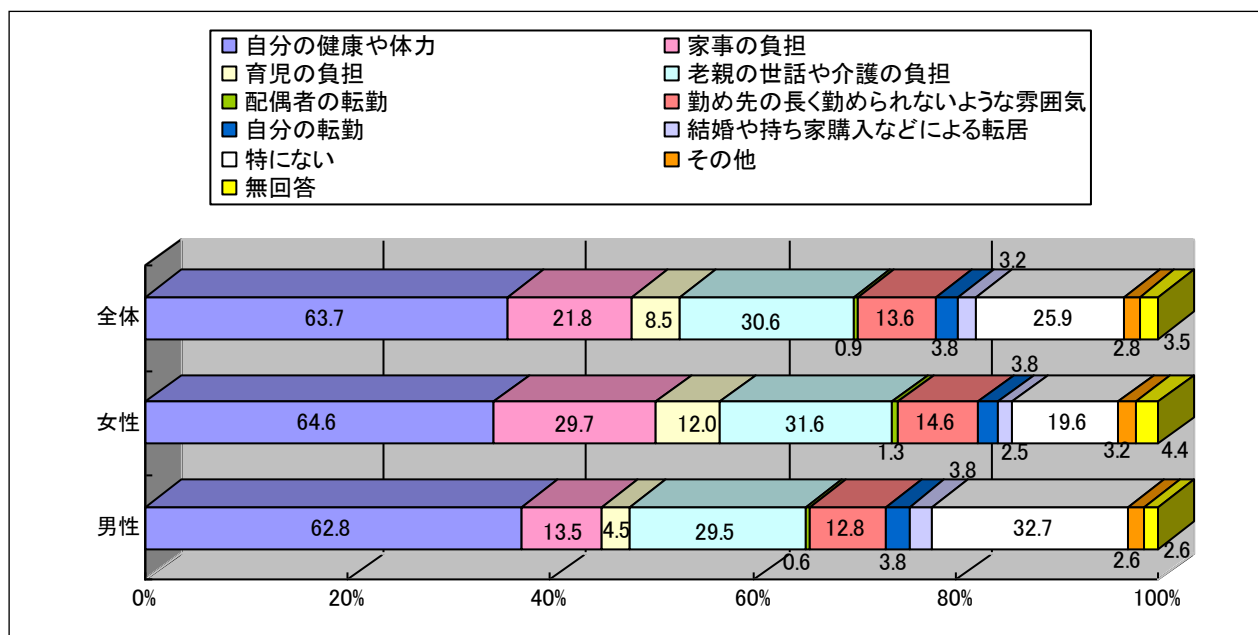
### 【その他記述】

- ・学校行事での休みがとりづらい。
- ・通勤距離が長い、40km。
- ・不満を感じない社会であれば、それ以上良くなることはないと思う。
- ・育休が不規則。
- ・組織が機能していない。
- ・収入があっても税金（町県民税・所得税）・保育料等で納めるおかねが大きすぎる（自営業です）。
- ・畜産農家であるため、朝早くからの世話で年中無休。農家だけでは生計が維持できないのでパートもし、体に余裕がない。
- ・産休・育休がとりにくく、子育てと働くことの両立が難しい。働くための保育所等の施設にも預けられる保障もない。働けなくなれば職が無くなる不安もある。

問 1 1. 仕事をしていく上での負担について

あなたが、引き続き仕事をしていく上で、重荷になるようなことはありますか。3つまで選んでください。

		単位 (%)								
		合計	自分の健康や体力	家事の負担	育児の負担	老親の世話や介護の負担	配偶者の転勤	勤め先の長く勤められないような雰囲気	自分の転勤	結婚や持ち家購入などによる転居
全体 (317)		100.0	63.7	21.8	8.5	30.6	0.9	13.6	3.8	3.2
性別	女性 (158)	100.0	64.6	29.7	12.0	31.6	1.3	14.6	3.8	2.5
	男性 (156)	100.0	62.8	13.5	4.5	29.5	0.6	12.8	3.8	3.8
		特になし	その他	無回答						
全体 (317)		25.9	2.8	3.5						
性別	女性 (158)	19.6	3.2	4.4						
	男性 (156)	32.7	2.6	2.6						



【全体集計】では、「自分の健康や体力」が最も多く 63.7%、次いで「老親の世話や介護の負担」30.6%、「特にない」25.9%でした。

【性別集計】では、「自分の健康や体力」が共に多く女性 64.6%、男性 62.8%でした。次いで女性は「老親の世話や介護の負担」31.6%、「家事の負担」29.7%、男性は「特にない」32.7%、「老親の世話や介護の負担」29.5%でした。

#### 【その他記述】

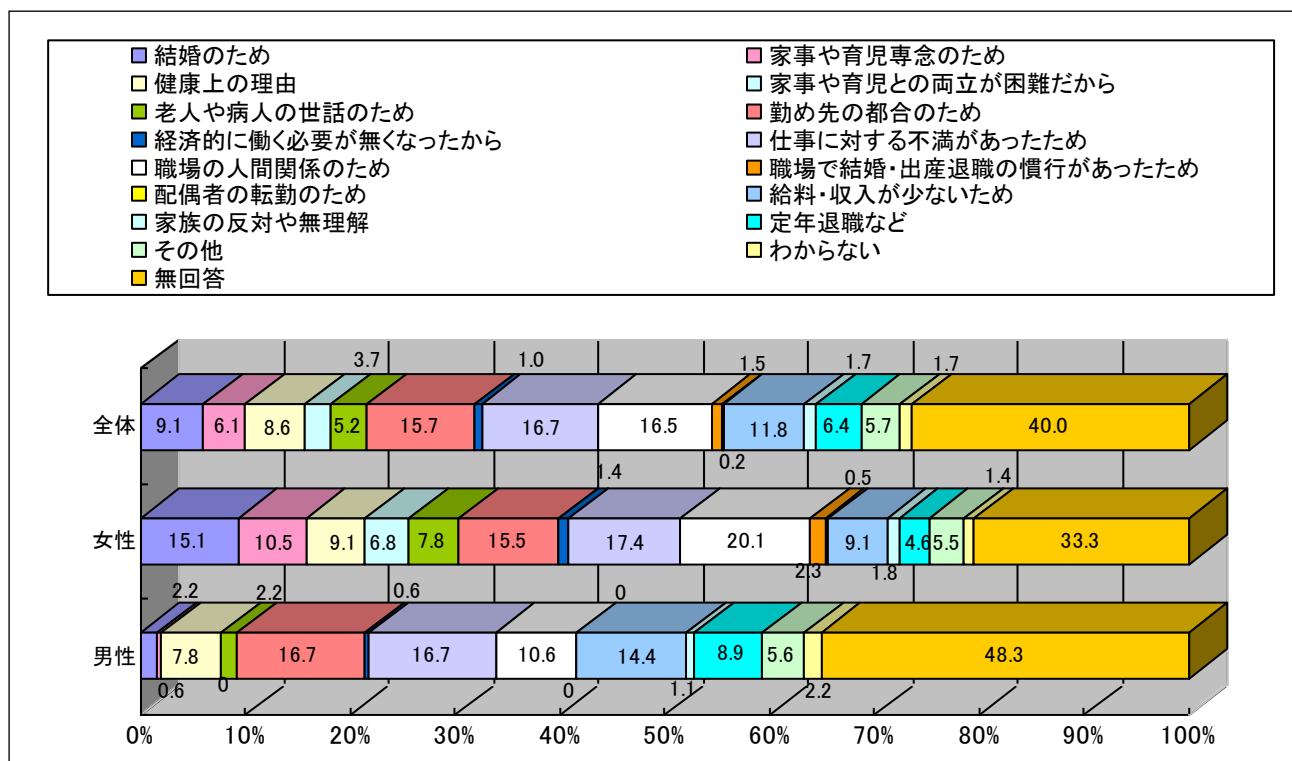
- ・パートなので期間に制限がある。
- ・収入が少ない（昇給が見込めない）。
- ・職場の精神的ストレス。
- ・義理姉との付き合い方。
- ・子どもの世話や介護の負担。
- ・ノルマ、プレッシャーがある。
- ・65歳までパートで対応するのは良いけど、ボケてきているのがすごく重荷です。誰にも相談できず困っています。社長や専務は知らんぷりです。



## 問12. 仕事を辞めた理由について

仕事を辞めた理由は何ですか。(これまで仕事を辞めた経験のある方だけにおたずねします。3つまで。)

		単位 (%)									
		合計	結婚のため	家事や育児専念のため	健康上の理由	家事や育児との両立が困難だから	老人や病人の世話のため	勤め先の都合のため	経済的に働く必要がなくなったから	仕事に対する不満があったため	
全体 (407)		100.0	9.1	6.1	8.6	3.7	5.2	15.7	1.0	16.7	
性別	女性 (180)	100.0	15.1	10.5	9.1	6.8	7.8	15.5	1.4	17.4	
	男性 (219)	100.0	2.2	0.6	7.8	0.0	2.2	16.7	0.6	16.7	
			職場の人間関係のため	職場で結婚・出産退職の慣行があったため	配偶者の転勤のため	給料・収入が少ないため	家族の反対や無理解	定年退職など	その他	わからない	無回答
全体 (407)		16.5	1.5	0.2	11.8	1.7	6.4	5.7	1.7	40.0	
性別	女性 (180)	20.1	2.3	0.5	9.1	1.8	4.6	5.5	1.4	33.3	
	男性 (219)	10.6	0	0	14.4	1.1	8.9	5.6	2.2	48.3	



【全体集計】では、「無回答」が 40.0%、次いで「仕事に対する不満があったため」16.7%、「職場の人間関係のため」16.5%でした。

【性別集計】では、「無回答」が共に多く、女性 33.3%、男性 48.3%でした。次いで女性は「職場の人間関係のため」20.1%、「仕事に対する不満があったため」17.4%、男性は「勤め先の都合のため」と「仕事に対する不満があったため」が 16.7%、「給料・収入が少ないため」14.4%でした。

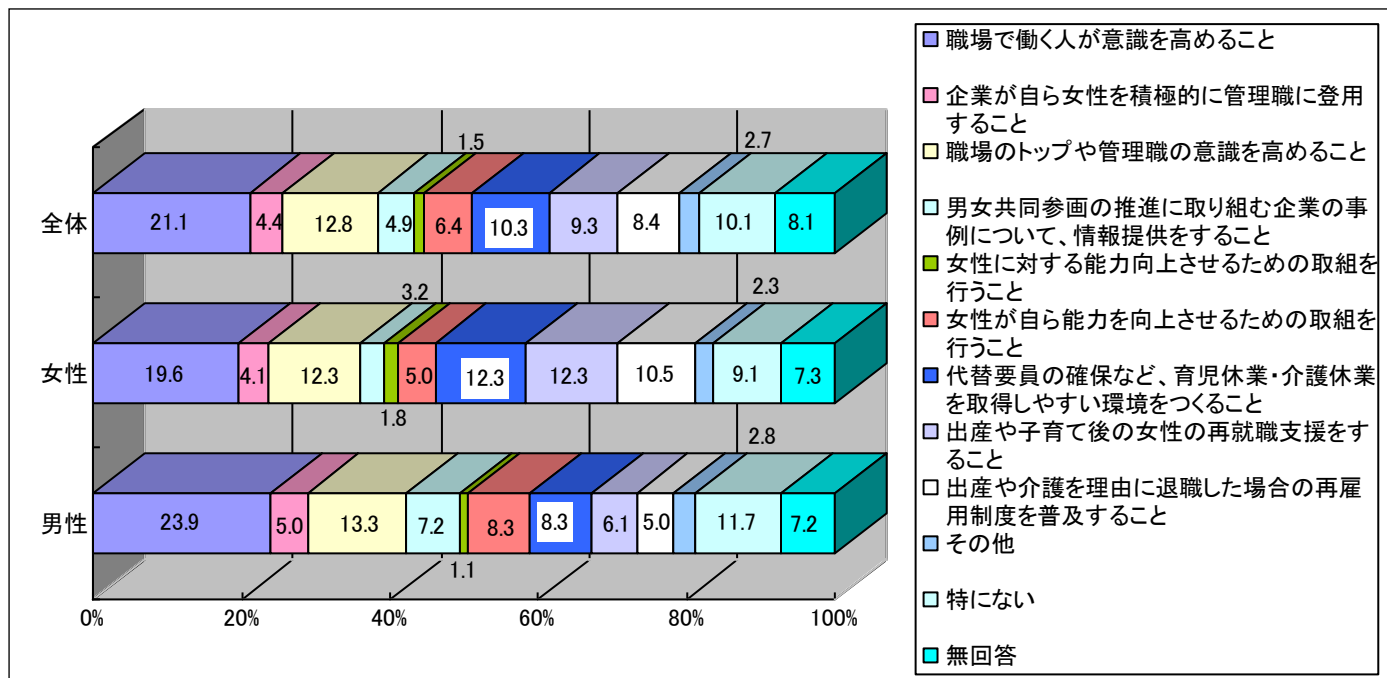
#### 【その他記述】

- ・ 転勤の可能性が発生したため。
- ・ スキルアップに転職したため。
- ・ 職場内のイジメ & パワハラにあったため。
- ・ 転勤できない。
- ・ 職場移転のため、通勤が困難になったため。
- ・ 病気（薬の副作用）。
- ・ 廃業。
- ・ 視力の衰え。時間のローテーション。
- ・ 子どもの学校通学のため。
- ・ 家業の手伝い。
- ・ 家業を継ぐ。
- ・ 交通事故に遭い5年間休業したため退職。
- ・ 1つの目標を達成し、ずっと目指していた夢を叶えるため。
- ・ 元々地元方面に戻ってくるつもりで、前職は戻れる見込みがなかったため。
- ・ 義父の体調不良のため、家畜の世話を朝早くからすることになったため。
- ・ 足腰が痛いため。
- ・ 交代勤務の激化。
- ・ 希望する職場に就職するため。
- ・ 長時間労働を強制されているため。
- ・ 次の直場の方が成長できると感じたため。
- ・ 長男で実家に戻るため。
- ・ 家庭の事情。
- ・ 転勤が多いため（他県）。

問 13. 職場における男女共同参画について

男女共同参画を積極的に進めるには、どのようなことが必要だと思いますか。1つだけ選んでください。

		単位 (%)								
		合計	職場で働く人が意識を高めること	企業が自ら女性を積極的に管理職に登用すること	職場のトップや管理職の意識を高めること	男女共同参画の推進に取り組む企業について、情報提供をすること	女性に対する能力向上させるための取組を行う。	女性が自ら能力を向上させるための取組を行うこと。	代替要員の確保など、育児休業・介護休業を取得しやすい環境をつくること	出産や子育て後の女性の再就職支援をすること
全体 (407)		100.0	21.1	4.4	12.8	4.9	1.5	6.4	10.3	9.3
性別	女性 (219)	100.0	19.6	4.1	12.3	3.2	1.8	5.0	12.3	12.3
	男性 (180)	100.0	23.9	5.0	13.3	7.2	1.1	8.3	8.3	6.1
		出産や介護を理由に退職した場合の再雇用制を普及すること	その他	わからない	無回答					
全体 (407)		8.4	2.7	10.1	8.1					
性別	女性 (219)	10.5	2.3	9.1	7.3					
	男性 (180)	5.0	2.8	11.7	7.2					



**【その他記述】**

- ・ 学校教育の場での指導。
- ・ 全職場に該当なし。

【全体集計】では、「職場で働く人が意識を高めること」が最も多く、21.1%、次いで「職場のトップや管理職の意識を高めること」12.8%、「代替要員の確保など、育児休業・介護休業を取得しやすい環境をつくること」10.3%でした。

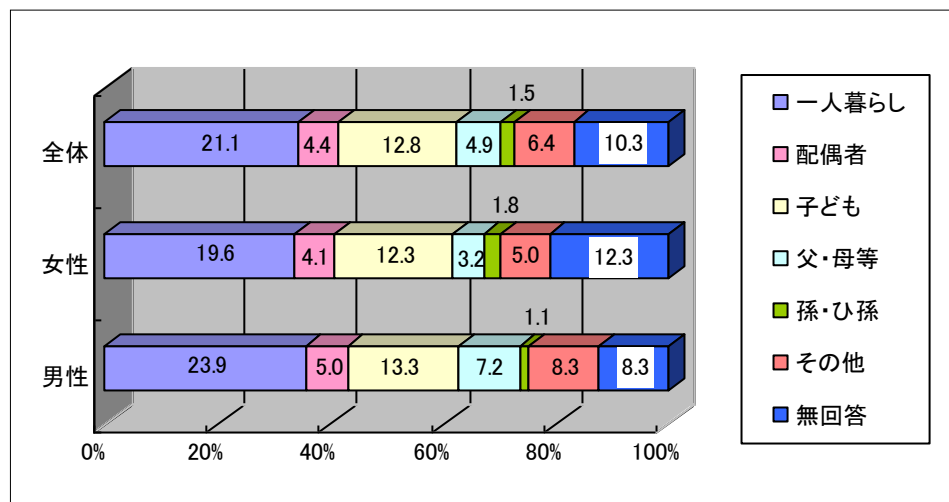
【性別集計】では、「職場で働く人が意識を高めること」が共に最も多く、女性19.6%、男性23.9%、次いで「職場のトップや管理職の意識を高めること」と「代替要員の確保など、育児休業・介護休業を取得しやすい環境をつくること」と「出産や子育て後の女性の再就職支援をすること」が共に、女性は、12.3%でした。男性は「職場のトップや管理職の意識を高めること」13.3%、「特にない」11.7%でした。

## 【家庭観などの意識について】

### 問14. 家族構成について

あなたの家族構成を教えてください。

		単位 (%)							
		合計	一人暮らし	配偶者	子ども	父・母等	孫・ひ孫	その他	無回答
全体 (407)		100.0	21.1	4.4	12.8	4.9	1.5	6.4	10.3
性別	女性 (219)	100.0	19.6	4.1	12.3	3.2	1.8	5.0	12.3
	男性 (180)	100.0	23.9	5.0	13.3	7.2	1.1	8.3	8.3

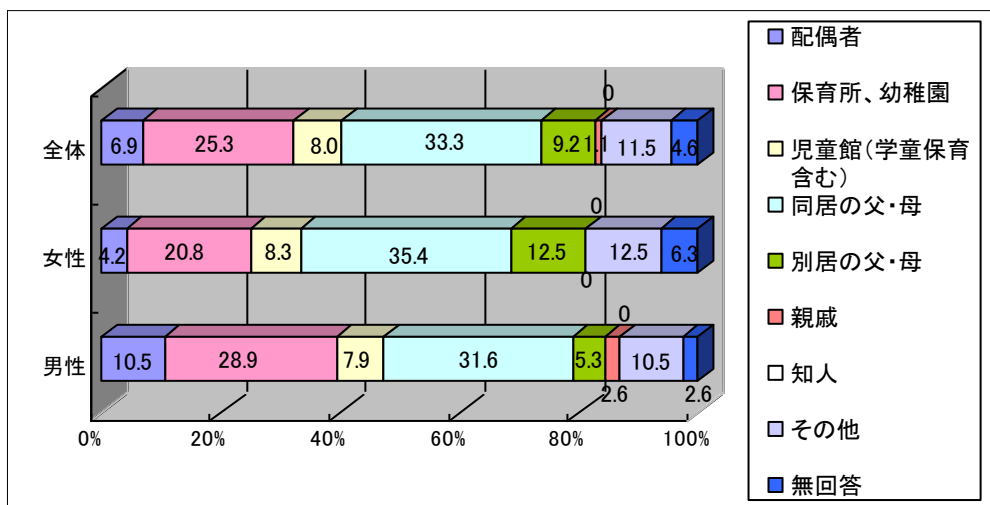


【全体集計】では、「一人暮らし」が最も多く、21.1%、次いで「子ども」12.8%、「無回答」10.3%でした。

【性別集計】では、「一人暮らし」が共に多く、女性19.6%、男性23.9%でした。次いで女性は「子ども」と「無回答」が共に12.3%でした。男性は「子ども」13.3%、「その他」と「無回答」が8.3%でした。

問14-1. あなたが仕事をしている時、お子さんを誰に預けますか。(15歳以下のお子さんをお持ちで、現在働いている方におたずねします。1つだけ。)

		単位 (%)									
		合計	配偶者	保育所・幼稚園	児童館(学童保育含む)	同居の父・母	別居の父・母	親戚	知人	その他	無回答
全体 (87)		100.0	6.9	25.3	8.0	33.3	9.2	1.1	0.0	11.5	4.6
性別	女性 (48)	100.0	4.2	20.8	8.3	35.4	12.5	0.0	0.0	12.5	6.3
	男性 (38)	100.0	10.5	28.9	7.9	31.6	5.3	2.6	0.0	10.5	2.6



### 【その他記述】

- ・留守番可能な年齢。
- ・子どもだけで留守番。
- ・留守番(一人で)。
- ・2人居るのに1つしか選べないのはおかしい。
- ・一人で留守番。
- ・中学生2人なので誰にも預けず一人で留守番をさせます。
- ・配偶者と別居の父母。
- ・保育所、児童館。

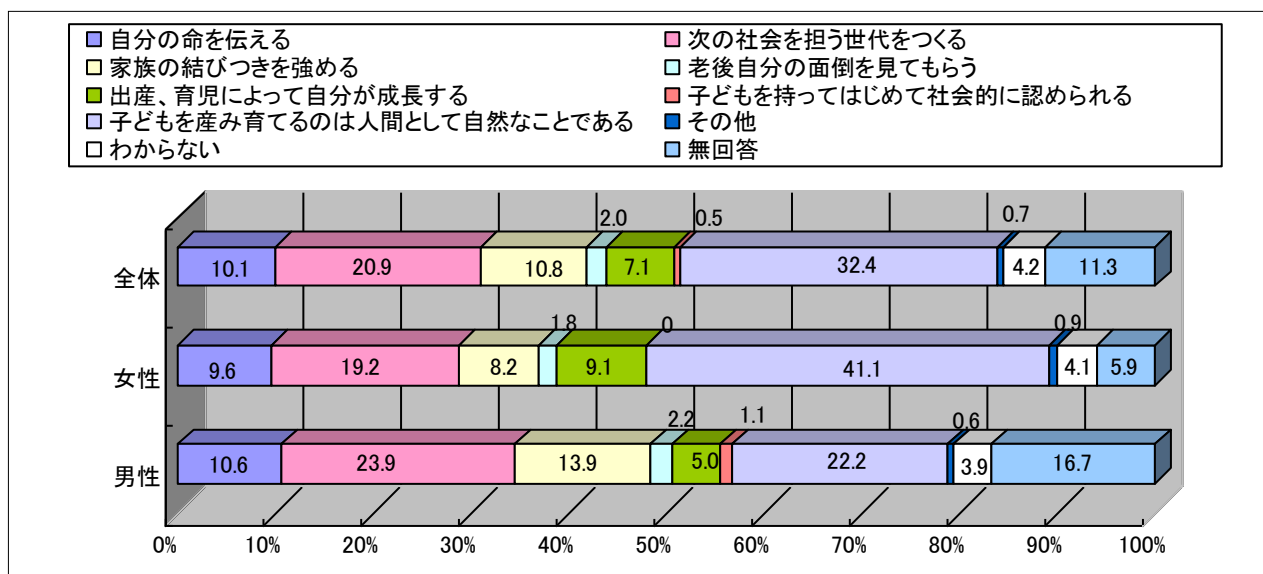
【全体集計】では、「同居の父・母」が最も多く33.3%、次いで「保育所、幼稚園」25.3%、「その他」11.5%でした。

【性別集計】では、「同居の父・母」が共に多く女性は35.4%、男性31.6%、「保育所、幼稚園」が女性、20.8%、男性28.9%、次いで女性は「別居の父・母」12.5%、男性は「配偶者」と「その他」が10.5%でした。

### 問15. 子どもを産み育てることについて

あなたにとって、子どもを産み育てるということはどのような意味を持っていますか。1つだけ選んでください。

		単位 (%)							
		合計	自分の命を伝える	次の社会を担う世代をつくる	家族の結びつきを強める	老後自分の面倒を見てもらう	出産、育児によって自分が成長する	子どもを持って初めて社会的に認められる	
全体 (407)		100.0	10.1	20.9	10.8	2.0	7.1	0.5	32.4
性別	女性 (216)	100.0	9.6	19.2	8.2	1.8	9.1	0.0	41.1
	男性 (180)	100.0	10.6	23.9	13.9	2.2	5.0	1.1	22.2
		その他	わからない	無回答					
性別	全体 (407)	0.7	4.2	11.3					
	女性 (216)	0.9	4.1	5.9					
	男性 (180)	0.6	3.9	16.7					



【全体集計】では、「子どもを産み育てるのは人間として自然なことである」が最も多く、32.4%、次いで「次の社会を担う世代をつくる」20.9%、「無回答」11.3%でした。

【性別集計】では、女性は「子どもを産み育てるのは人間として自然なことである」が41.1%、次いで「次の社会を担う世代をつくる」19.2%、「自分の命を伝える」9.6%でした。男性は「次の社会を担う世代をつくる」が23.9%、次いで「子どもを産み育てるのは人間として自然なことである」22.2%、「無回答」16.7%でした。

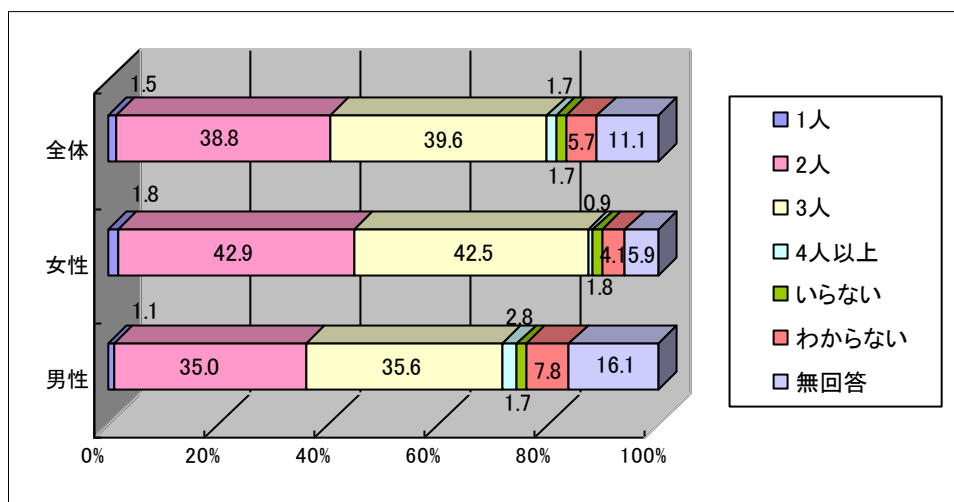
#### 【その他記述】

・1つを選ぶのは難しい。

問16. 欲しい(欲しかった)子どもの数について

あなたは、お子さんを何人ぐらい欲しいとお考えですか。あるいはお考えでしたか。1つだけ選んでください。

		単位 (%)							
		合計	1人	2人	3人	4人以上	いない	わからない	無回答
全体 (407)		100.0	1.5	38.8	39.6	1.7	1.7	5.7	11.1
性別	女性 (219)	100.0	1.8	42.9	42.5	0.9	1.8	4.1	5.9
	男性 (180)	100.0	1.1	35.0	35.6	2.8	1.7	7.8	16.1



【全体集計】では、「3人」が最も多く39.6%、「2人」が38.8%、「無回答」11.1%でした。

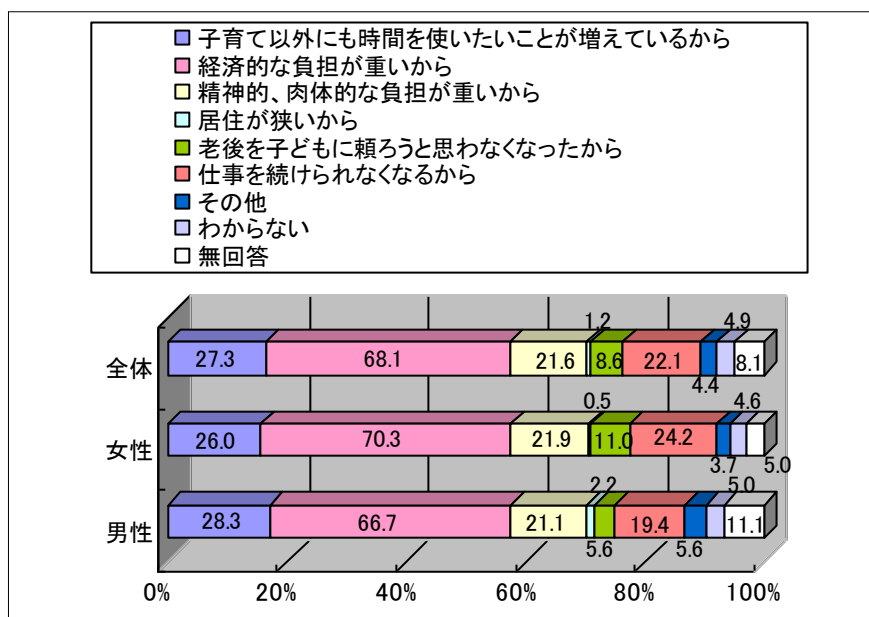
【性別集計】では、「3人」が女性42.5%、男性35.6%、「2人」が女性42.9%、男性35.0%、「無回答」女性5.9%、男性16.1%でした。



問17. 女性が一生のうちに産む子どもの数の減少について

女性が一生のうちに産む子どもの数が少なくなっています。その原因は何であるとお考えですか。2つまで選んでください。

		単位 (%)				
		合計	子育て以外にも時間を使いたいことが増えているから	経済的な負担が重いから	精神的、肉体的な負担が重いから	住居が狭いから
全体 (407)		100.0	27.3	68.1	21.6	1.2
性別	女性 (216)	100.0	26.0	70.3	21.9	0.5
	男性 (180)	100.0	28.3	66.7	21.1	2.2
		老後を子どもに頼ろうと思わなくなったから	仕事を続けられなくなるから	その他	わからない	無回答
性別	全体 (407)	8.6	22.1	4.4	4.9	8.1
	女性 (216)	11.0	24.2	3.7	4.6	5.0
	男性 (180)	5.6	19.4	5.6	5.0	11.1



【全体集計】では、「経済的な負担が重いから」が最も多く68.1%、次いで「子育て以外にも時間を使いたいことが増えているから」が27.3%、「仕事を続けられなくなるから」が22.1%でした。

【性別集計】では、共に「経済的な負担が重いから」が女性70.3%、男性66.7%、次いで「子育て以外にも時間を使いたいことが増えているから」が女性26.0%、男性28.3%、でした。次に多かったのは女性は「仕事を続けられなくなるから」24.2%、男性は「精神的、肉体的な負担が重いから」21.1%でした。

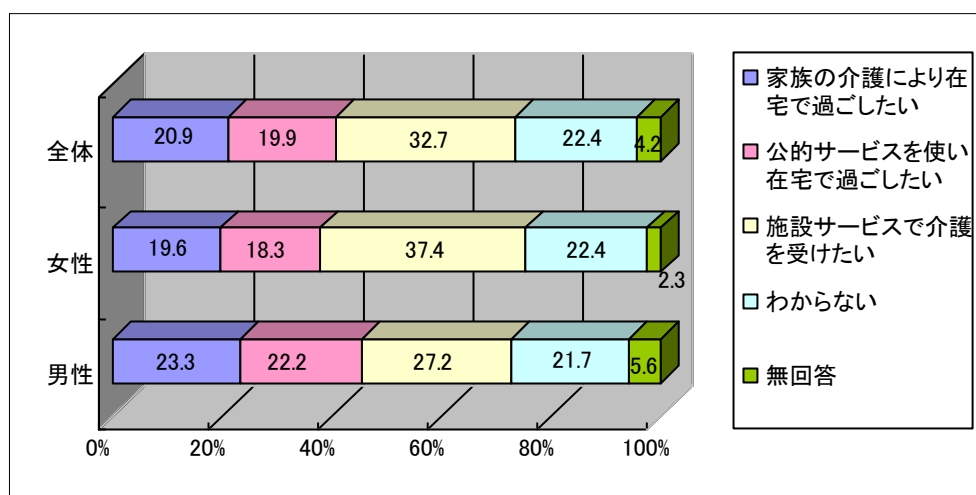
### 【その他記述】

- ・子育ての環境。
- ・子どもを育てる環境が整っていない。
- ・結婚する年齢の上昇。
- ・子育て環境が整っていないから。
- ・女性の自立ができるようになってきた。
- ・結婚するのが遅い。
- ・この国が悪いから。
- ・婚期が遅い。
- ・母体が無理。
- ・結婚生活に魅力を感じない。
- ・結婚する相手がいないから。
- ・不妊。
- ・未婚者の増加、晩婚化。
- ・共働きで子どもが生まれても面倒を見る人がいない。
- ・保育所は高い。料金を安くしてほしい。
- ・結婚しようと思わない人が多いから。
- ・年をとるにつれて結婚するため、子どもが増えない。
- ・女性は子どもを産むのが当たり前と思い、育児に協力してくれる人が少ない。また「子育て中はそうして（育児だけで）当たり前」という回りの雰囲気。何かあると言われるのは母親。もっと子育てしやすい環境をつくること。
- ・結婚しないという選択肢が当たり前になってきていると思う。親を見て、結婚して、子どもを産み育てることの大変さを知っている。以前のように結婚しなければという意識が薄くなってきている。
- ・結婚したいと思う相手と出会う機会が少ないから。晩婚。社会で経験を積み、子どもを持ちたいと思った時には年を重ねており、不妊。

## 問18. 在宅介護について

あなたが病気になったら在宅介護を望みますか。施設サービスを望みますか。1つだけ選んでください。

		単位 (%)					
		合計	家族の介護により在宅で過ごしたい	公的サービスを使い在宅で過ごしたい	施設サービスで介護を受けたい	わからない	無回答
全体 (407)		100.0	20.9	19.9	32.7	22.4	4.2
性別	女性 (216)	100.0	19.6	18.3	37.4	22.4	2.3
	男性 (180)	100.0	23.3	22.2	27.2	21.7	5.6

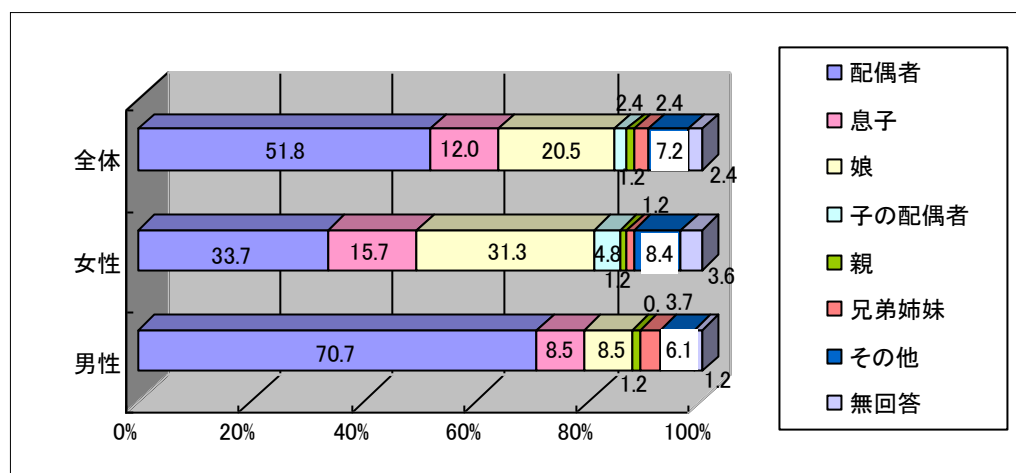


【全体集計】では、「施設サービスで介護を受けたい」が最も多く32.7%、「わからない」が22.4%、「家族の介護により在宅で過ごしたい」が20.9%でした。

【性別集計】では、共に「施設サービスで介護を受けたい」が女性37.4%、男性27.2%、女性は「わからない」が22.4%、次いで「家族の介護により在宅で過ごしたい」が19.6%でした。男性は「家族の介護により在宅で過ごしたい」が23.3%、「わからない」が21.7%でした。

問18-1. あなたにとって介護が必要になった場合、どなたに介護をして貰いたいですか。(「在宅で過ごしたい」と答えた方だけにおたずねします。1つだけ。)

		単位 (%)								
		合計	配偶者	息子	娘	子の配偶者	親	兄弟姉妹	その他	無回答
全体 (166)		100.0	51.8	12.0	20.5	2.4	1.2	2.4	7.2	2.4
性別	女性 (83)	100.0	33.7	15.7	31.3	4.8	1.2	1.2	8.4	3.6
	男性 (82)	100.0	70.7	8.5	8.5	0.0	1.2	3.7	6.1	1.2



#### 【その他記述】

- ・ヘルパーさん。
- ・訪問介護、他。
- ・配偶者、息子、娘に。
- ・他人。
- ・介護士。
- ・ヘルパー。
- ・わからない。
- ・1人暮らしの人達が集まり共同生活をしてみたい。

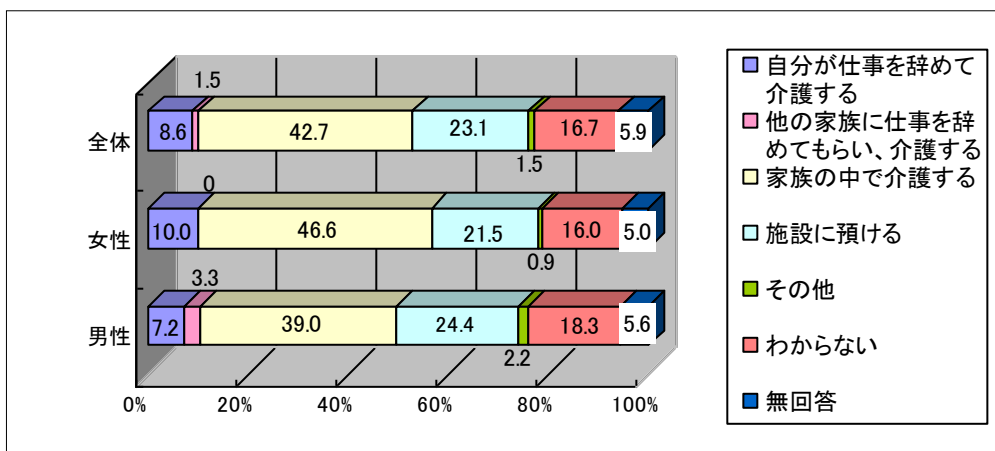
【全体集計】では、「配偶者」が最も多く51.8%、次いで「娘」が20.5%、「息子」12.0%でした。

【性別集計】では、共に「配偶者」という回答でしたが、女性は33.7%、男性は70.7%と37.0%も上回る結果となっています。次いで女性は「娘」が31.3%、「息子」が15.7%でした。男性は「娘」と「息子」が共に8.5%となっています。

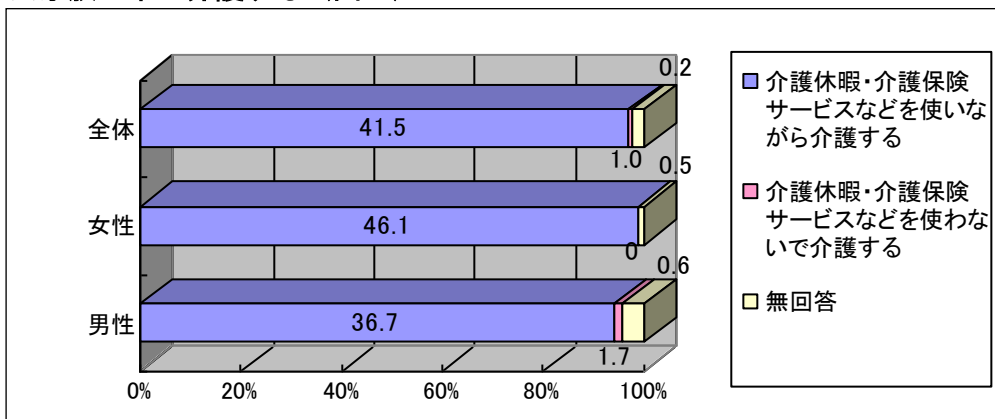
問19. 家族に介護が必要になった場合について

家族に介護が必要になった場合について、あなたはどのようにしますか。1つだけ選んでください。3を選択した場合には、カッコ内にも○をつけてください。

		単位：(%)						
		合計	自分が仕事をやめて介護する	他の家族に仕事をやめてもらい、介護する	※家族の中で介護する(図1)			
					介護休暇・介護保険サービスなどを使いながら介護する	介護休暇・介護保険サービスなどを使わないで介護する	無回答	合計
全体(407)		100.0	8.6	1.5	41.5	0.2	1.0	42.7
性別	女性(219)	100.0	10.0	0.0	46.1	0.0	0.5	46.6
	男性(180)	100.0	7.2	3.3	36.7	0.6	1.7	39.0
		施設に預ける	その他	わからない	無回答			
全体(407)		23.1	1.5	16.7	5.9			
性別	女性(219)	21.5	0.9	16.0	5.0			
	男性(180)	24.4	2.2	18.3	5.6			



※家族の中で介護する (図1)



### 【その他記述】

- ・働きながら、介護する。(軽度な時)
- ・自分が動けなくなるまでです。
- ・当事者も含め、話し合いで決める。
- ・預けたいが資金不足。
- ・昔は家族で介護したもの(今の様な核家族でないため)。サービス等を利用してできるだけ介護する人の負担を少なく、やがては自分の立場もそうなる事を頭の隅に置きながら！

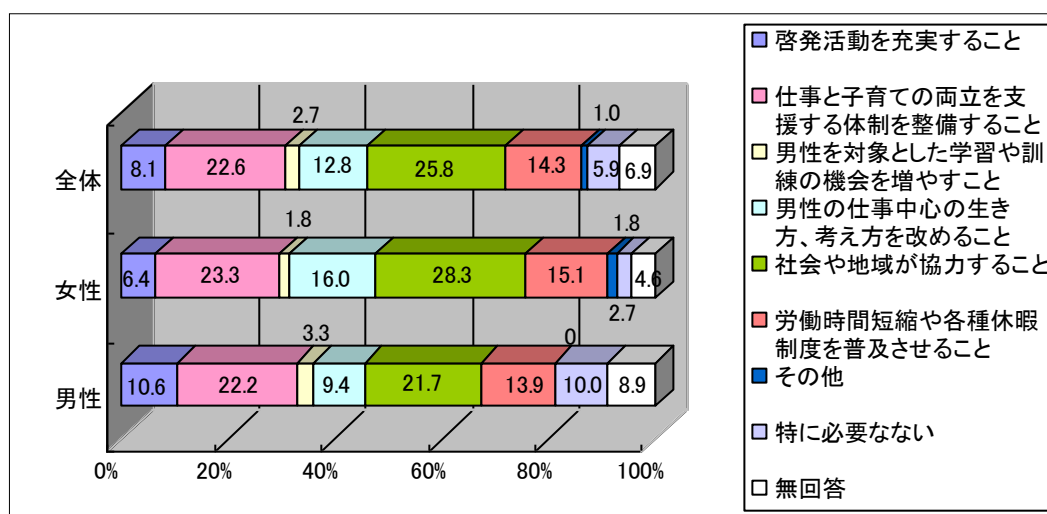
【全体集計】では、「家族の中で介護する」が最も多く42.7%、「施設に預ける」が23.1%、「わからない」が16.7%でした。

【性別集計】では、共に「家族の中で介護する」が女性46.6%、男性39.0%、次いで「施設に預ける」が女性21.5%、男性24.4%、「わからない」が女性16.0%、男性18.3%でした。

## 問20. 男性の家事・育児・介護について

関わりを進めていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。1つ選んでください。

		単位 (%)				
		合計	啓発活動を充実すること	仕事と子育ての両立を支援する体制を整備充実すること	男性を対象とした学習や訓練の機会を増やすこと	男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること
全体 (407)		100.0	8.1	22.6	2.7	12.8
性別	女性 (216)	100.0	6.4	23.3	1.8	16.0
	男性 (180)	100.0	10.6	22.2	3.3	9.4
		社会や地域が協力すること	労働時間短縮や各種休暇制度を普及させること	その他	特に必要はない	無回答
性別	全体 (407)	25.8	14.3	1.0	5.9	6.9
	女性 (216)	28.3	15.1	1.8	2.7	4.6
	男性 (180)	21.7	13.9	0.0	10.0	8.9



【全体集計】では、「社会や地域が協力すること」が最も多く25.8%、次いで「仕事と子育ての両立を支援する体制を整備すること」が22.6%、「労働時間短縮や各種休暇制度を普及させること」が14.3%でした。

【性別集計】では、女性は「社会や地域が協力すること」が28.3%、次いで「仕事と子育ての両立を支援する体制を整備すること」が23.3%、「男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること」が16.0%でした。男性は「仕事と子育ての両立を支援する体制を整備すること」が22.2%、次いで「社会や地域が協力すること」が21.7%、「労働時間短縮や各種休暇制度を普及させること」が13.9%でした。

**【その他記述】**

- ・ わからない。
- ・ 畜産農家では他に関わりたくても関われない。
- ・ 各家庭で、子どもの頃から意識を高める環境をつくる。

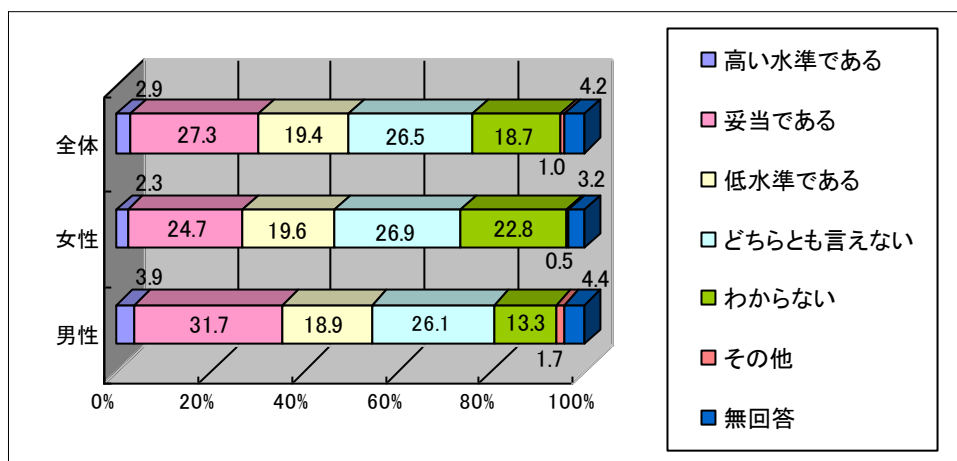


## 【社会活動や学校における意識について】

### 問 2 1. 加美町における各種審議会・委員会委員への女性の参画について

加美町における平成 24 年度の各種審議会・委員会委員の総数 371 人のうち、女性委員は 117 人 (31.5%) ですが、この比率をどう思いますか。1 つだけ選んでください。

		単位 (%)							
		合計	高い水準 にある	妥当であ る	低水準で ある	どちらとも いえない	わからな い	その他	無回答
全体 (407)		100.0	2.9	27.3	19.4	26.5	18.7	1.0	4.2
性別	女性 (219)	100.0	2.3	24.7	19.6	26.9	22.8	0.5	3.2
	男性 (180)	100.0	3.9	31.7	18.9	26.1	13.3	1.7	4.4



【全体集計】では、「妥当である」が最も多く 27.3%、「どちらとも言えない」が 26.5%、「低水準である」が 19.4% 「高い水準である」が 2.9% でした。

【性別集計】では、女性は「どちらとも言えない」が 26.9%、次いで「妥当である」が 24.7%、「わからない」が 22.8% でした。男性は「妥当である」が 31.7%、次いで「どちらとも言えない」が 26.1%、「低水準である」が 18.9% でした。

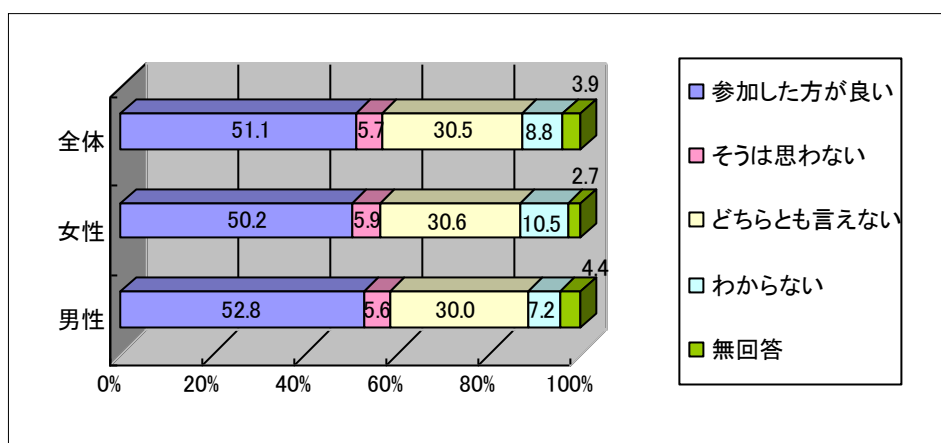
#### 【その他記述】

- ・ 比率でいえばやや低めではあるが、思っていたよりは人数はいた方だと感じた。
- ・ 理想は 50%50%になるといいと思う。
- ・ 男女比関係ない。
- ・ 女性がそういった場に出ることの気持ち（やる気）の問題だと思うので、この件は男女競争参画には関係ないと思う。

問 2 2. 町の施策・方針決定の場への女性の参画について

町の施策・方針決定の場へ女性がもっと参加した方が良いと思いますか。1つだけ選んでください。

		単位 (%)					
		合計	参加した方が 良い	そうは思わな い	どちらともいえ ない	わからない	無回答
全体 (407)		100.0	51.1	5.7	30.5	8.8	3.9
性別	女性 (216)	100.0	50.2	5.9	30.6	10.5	2.7
	男性 (180)	100.0	52.8	5.6	30.0	7.2	4.4



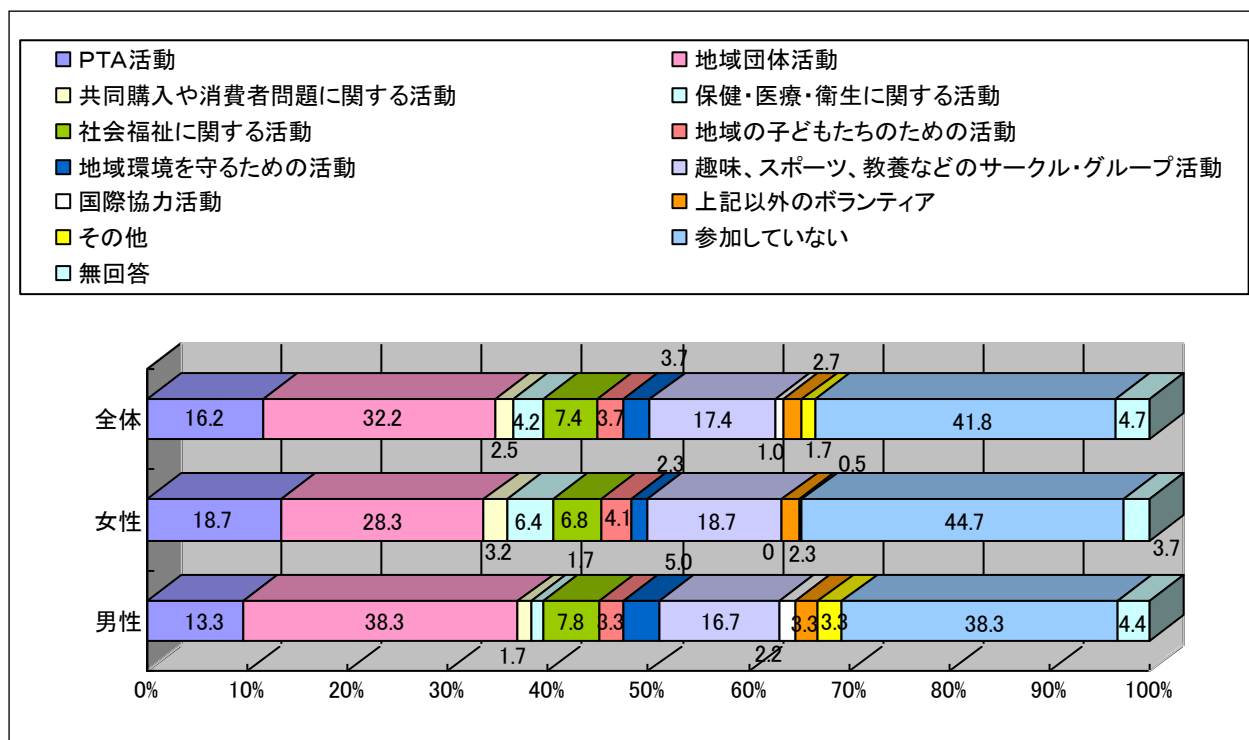
【全体集計】では、「参加した方が良い」が最も多く 51.1%、次いで「どちらとも言えない」が 30.5%、「わからない」が 8.8%でした。

【性別集計】では、「参加した方が良い」が女性 50.2%、男性 52.8%、次いで「どちらとも言えない」が、女性 30.6%、男性 30.0%、「わからない」が女性 10.5%、男性 7.2%でした。

### 問23. 参加している地域活動・ボランティアについて

あなたが参加している地域活動・ボランティア活動は何ですか。(複数回答)

		単位 (%)								
		合計	PTA活動	地域団体活動	共同購入や消費者問題に関する活動	保健・医療・衛生に関する活動	社会福祉に関する活動	地域の子どもたちのための活動	地域環境を守るための活動	趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動
全体 (407)		100.0	16.2	32.2	2.5	4.2	7.4	3.7	3.7	17.4
性別	女性 (219)	100.0	18.7	28.3	3.2	6.4	6.8	4.1	2.3	18.7
	男性 (180)	100.0	13.3	38.3	1.7	1.7	7.8	3.3	5.0	16.7
		国際協力活動	上記以外のボランティア活動	その他	参加していない	無回答				
全体 (407)		1.0	2.7	1.7	41.8	4.7				
性別	女性 (219)	0.0	2.3	0.5	44.7	3.7				
	男性 (180)	2.2	3.3	3.3	38.3	4.4				

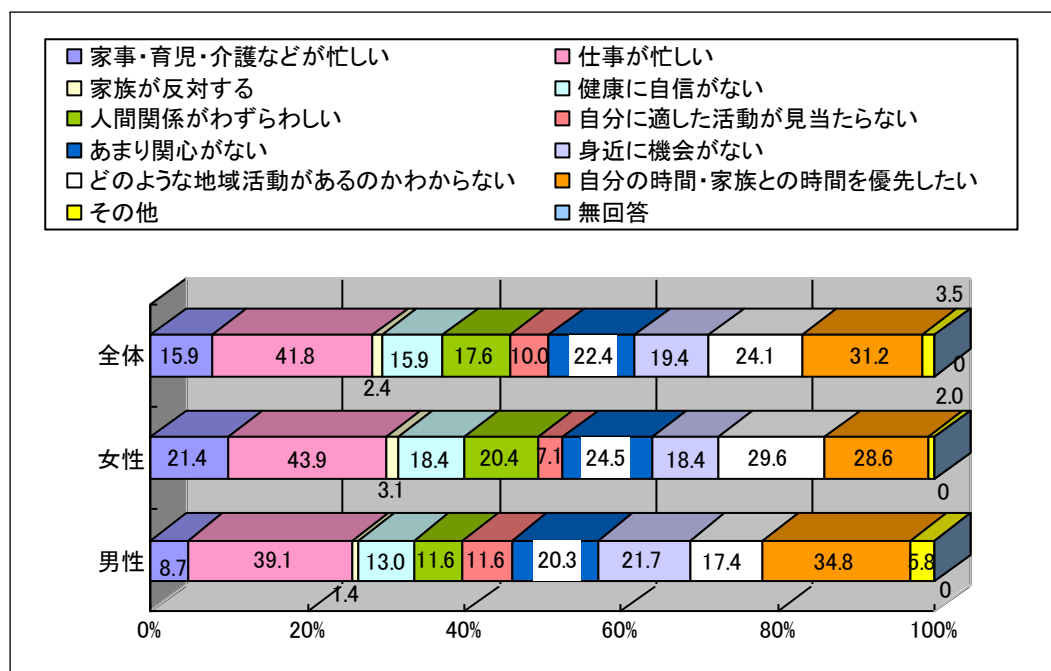


**【全体集計】**では、「参加していない」が最も多く41.8%、次いで「地域団体活動」が32.2%、「趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動」が17.4%でした。

**【性別集計】**では、女性は「参加していない」が44.7%、次いで「地域団体活動」が28.3%、「PTA活動」と「趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動」が共に18.7%でした。男性は「参加していない」と「地域団体活動」が共に38.3%、「趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動」が16.7%でした。

問23-1. 参加しない理由は何ですか。（「参加していない」と答えた方だけ。複数回答）

		単位（％）								
		合計	家事・育児・介護などが忙しい	仕事忙しい	家族が反対する	健康に自信がない	人間関係がわずらわしい	自分に適した活動が見当たらない	あまり関心がない	身近に機会がない
全体（170）		100.0	15.9	41.8	2.4	15.9	17.6	10.0	22.4	19.4
性別	女性（98）	100.0	21.4	43.9	3.1	18.4	20.4	7.1	24.5	18.4
	男性（69）	100.0	8.7	39.1	1.4	13.0	11.6	11.6	20.3	21.7
		どのような地域活動があるのかわからない	自分の時間・家族との時間を優先したい	その他	無回答					
全体（170）		24.1	31.2	3.5	0.0					
性別	女性（98）	29.6	28.6	2.0	0.0					
	男性（69）	17.4	34.8	5.8	0.0					



【全体集計】では、「仕事忙しい」が最も多く41.8%、次いで「自分の時間・家族との時間を優先したい」が31.2%、「どのような地域活動があるのかわからない」が24.1%でした。

【性別集計】では、共に「仕事が忙しい」が最も多く、女性 43.9%、男性 39.1%でした。次いで女性は「どのような地域活動があるのかわからない」が 29.6%、「自分の時間・家族との時間を優先したい」が 28.6%でした。男性は「自分の時間・家族との時間を優先したい」が 34.8%、「身近に機会がない」が 21.7%でした。

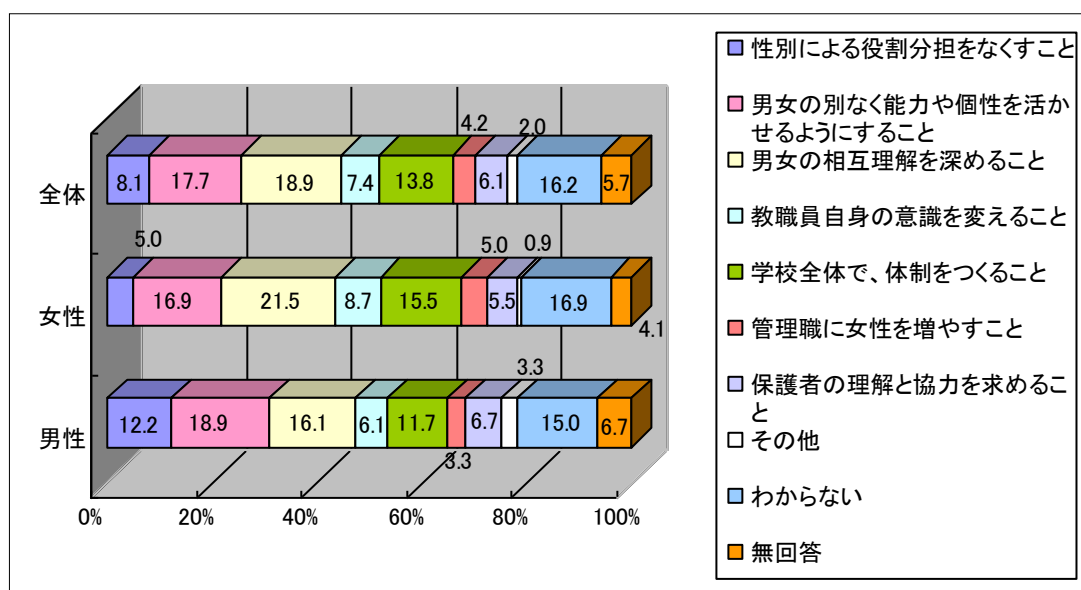
#### 【その他記述】

- ・ 青色パトロール。
- ・ 商工会役員活動。
- ・ 消防団、スポーツ推進委員。
- ・ 契約講。
- ・ 産直活動世話役、宅配事業の世話係。
- ・ 生涯学習推進員。
- ・ 防犯指導員。
- ・ 学業に集中しているので。
- ・ 移動手段が自転車か、競歩のみ。
- ・ どこに何があるかわからない。
- ・ 学生なので県外に居る。
- ・ 同年代の人が参加しているのかわからない。
- ・ 個人で参加して良いのかわからない。参加してみたいが入りづらい雰囲気がある。
- ・ 地元だからこそ・・・。

## 問24. 教育現場における男女共同参画について

男女共同参画が積極的に進むためには、どのようなことが必要だと思いますか。1つ選んでください。

		単位 (%)							
		合計	性別による役割分担をなくすこと	男女の別なく能力や個性を活かせるようにすること	男女の相互理解を深めること	教職員自身の意識を変えること	学校全体で、体制をつくること	管理職に女性を増やすこと	保護者の理解と協力を求めること
全体 (407)		100.0	8.1	17.7	18.9	7.4	13.8	4.2	6.1
性別	女性 (216)	100.0	5.0	16.9	21.5	8.7	15.5	5.0	5.5
	男性 (180)	100.0	12.2	18.9	16.1	6.1	11.7	3.3	6.7
その他			わからない	無回答					
全体 (407)		2.0	16.2	5.7					
性別	女性 (216)	0.9	16.9	4.1					
	男性 (180)	3.3	15.0	6.7					



【全体集計】では、「男女の相互理解を深めること」が18.9%、次いで「男女の別なく能力や個性を活かせるようにすること」が17.7%、「わからない」が16.2%でした。

【性別集計】では、女性は「男女の相互理解を深めること」が最も多く、21.5%、次いで「男女の別なく能力や個性を活かせるようにすること」と「わからない」が共に16.9%、「学校全体で体制をつくること」が15.5%でした。男性は「男女の別なく能力や個性を活かせるようにすること」が18.9%、次いで「男女の相互理解を深めること」が16.1%、「わからない」が15.0%でした。

**【その他記述】**

- ・このような状況は今はない。
- ・男性と女性で役割分担があるのは当然。
- ・それぞれの役割をしっかり教える。
- ・親が過保護にしないこと。

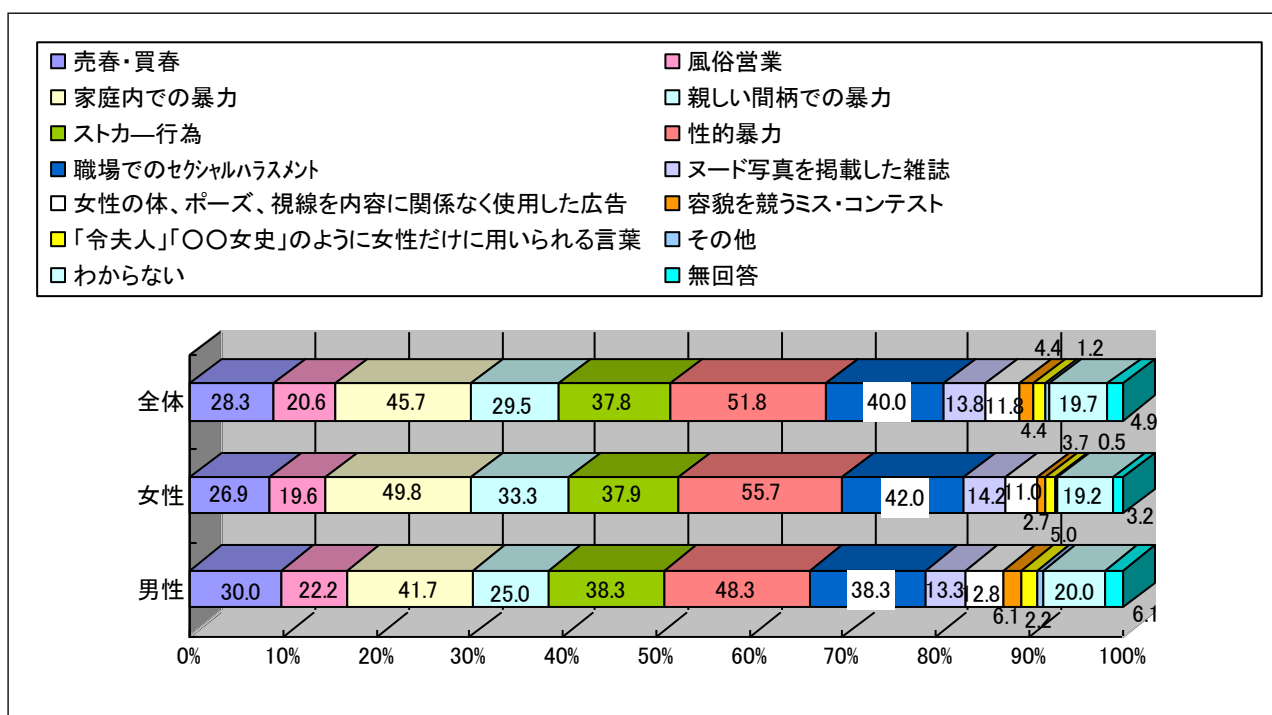


## 【人権問題について】

### 問25. 女性の人権問題について

女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。（複数回答）

		単位（％）									
		合計	売春・買春	風俗営業	家庭内での暴力	親しい間柄での暴力	ストーカー行為	性的暴力	職場でのセクシャルハラスメント	ヌード写真を掲載した雑誌	
全体（407）		100.0	28.3	20.6	45.7	29.5	37.8	51.8	40.0	13.8	
性別	女性（219）	100.0	26.9	19.6	49.8	33.3	37.9	55.7	42.0	14.2	
	男性（180）	100.0	30.0	22.2	41.7	25.0	38.3	48.3	38.3	13.3	
		内容に関係なく使用した広告など	ミス・コンテスト	女性だけに用いられる言葉	その他	わからない	無回答				
全体（407）		11.8	4.4	4.4	1.2	19.7	4.9				
性別	女性（219）	11.0	2.7	3.7	0.5	19.2	3.2				
	男性（180）	12.8	6.1	5.0	2.2	20.0	6.1				



【全体集計】では、「性的暴力」が最も多く、51.8%、次いで「家庭内での暴力」が45.7%、「職場でのセクシャルハラスメント」が40.0%でした。

【性別集計】では、共に「性的暴力」が女性55.7%、男性48.3%、次いで「家庭内での暴力」が女性49.8%、男性41.7%、「セクシャルハラスメント」が女性42.0%、男性は「セクシャルハラスメント」と「ストーカー行為」が38.3%でした。

【その他記述】

- ・十分に尊重されています。
- ・特になし。女性に限ったことではない。
- ・法制度は整っていると思う。
- ・法律。
- ・本人の意に反する行為についての強要は、基本的に人権は尊重されていないことではないのか。この問いは、女性主体での問になっていますが、必ずしも女性が主体になるとは限りません。故に、そもそもこの問い自体が男女平等ではないと思う。

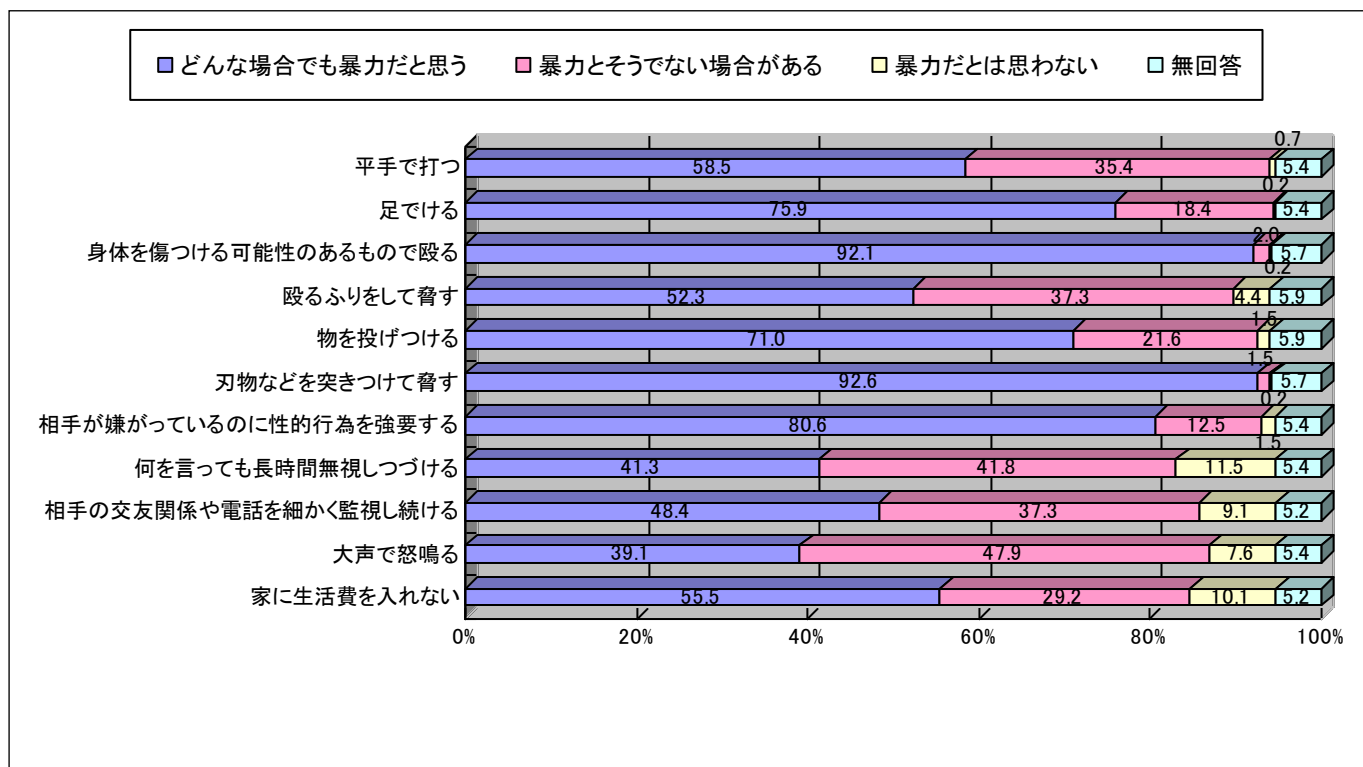
## 問26. 近親者間での暴力意識について

次のようなことが、配偶者や恋人など近親者の間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。

全体

単位 (%)

	合計	どんな場合でも暴力だと思う	暴力とそうでない場合がある	暴力だとは思わない	無回答
平手で打つ	100.0	58.5	35.4	0.7	5.4
足でける	100.0	75.9	18.4	0.2	5.4
身体を傷つける可能性のあるもので殴る	100.0	92.1	2.0	0.2	5.7
殴るふりをして脅す	100.0	52.3	37.3	4.4	5.9
物を投げつける	100.0	71.0	21.6	1.5	5.9
刃物などを突き付けて脅す	100.0	92.6	1.5	0.2	5.7
相手が嫌がっているのに性的行為を強要する	100.0	80.6	12.5	1.5	5.4
何を言っても長時間無視しつづける	100.0	41.3	41.8	11.5	5.4
相手の交友関係や電話を細かく監視し続ける	100.0	48.4	37.3	9.1	5.2
大声で怒鳴る	100.0	39.1	47.9	7.6	5.4
家に生活費を入れない	100.0	55.5	29.2	10.1	5.2

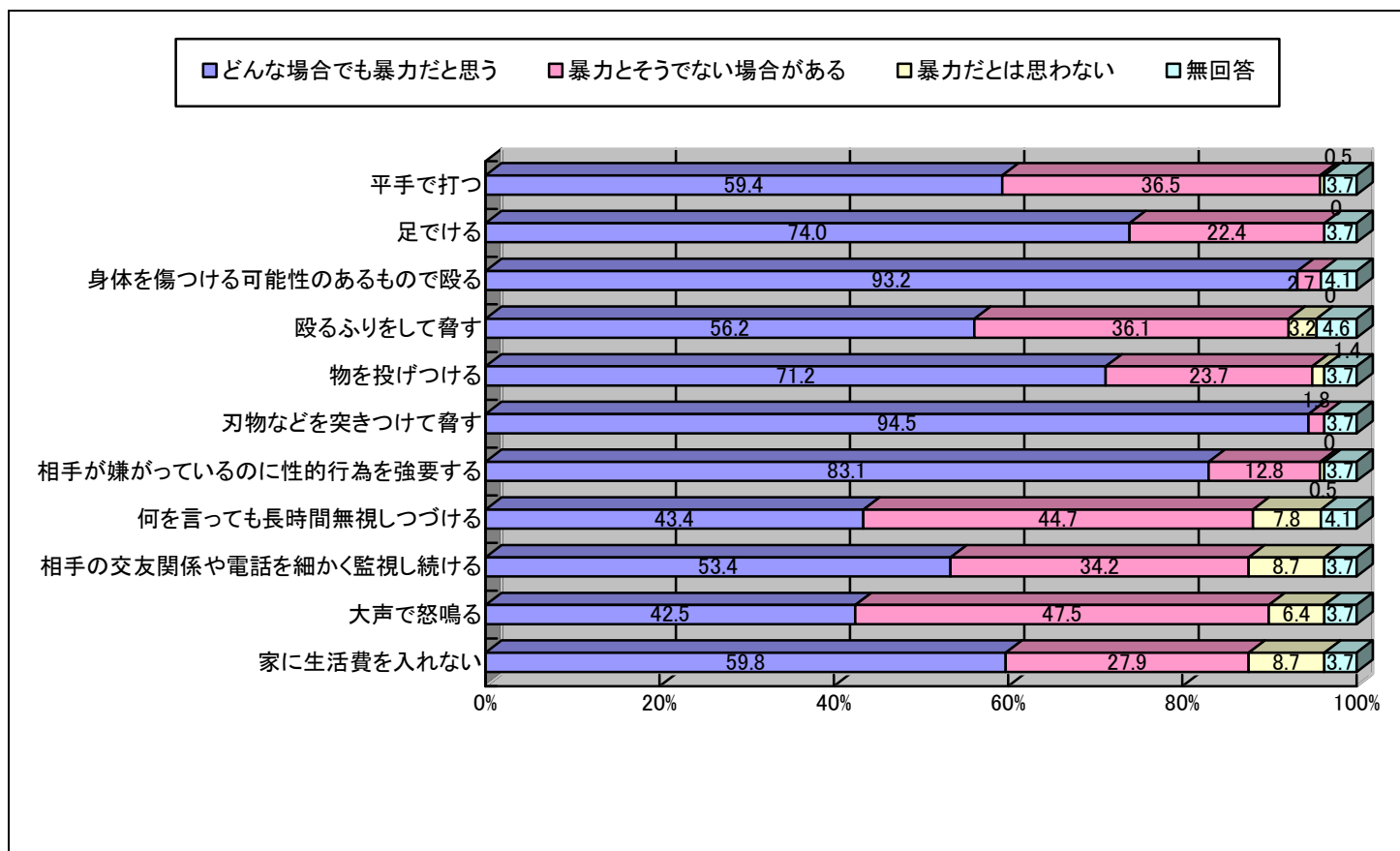


## 男女

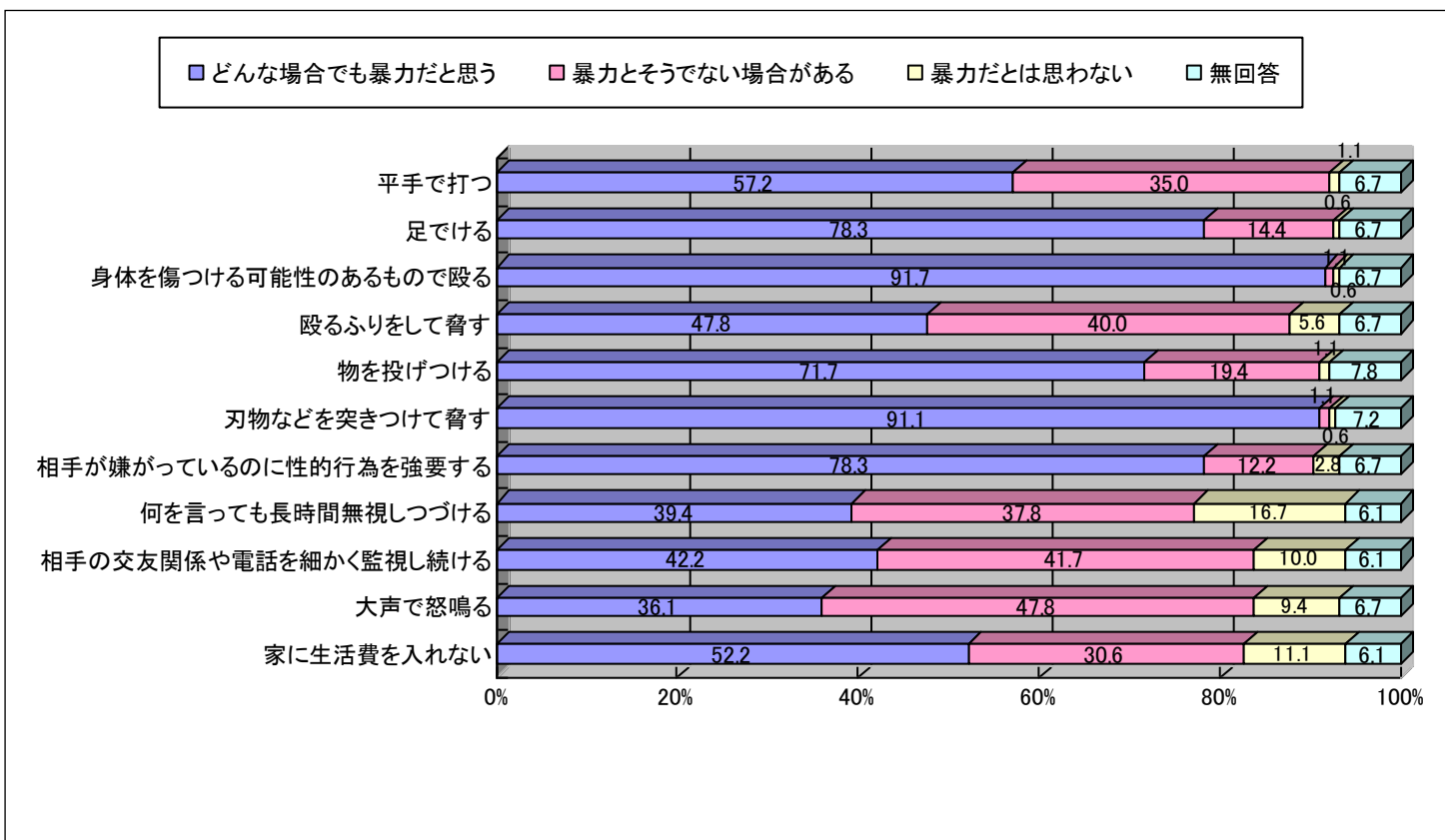
単位 (%)

		合計	どんな場合でも 暴力だと思う	暴力とそうでな い場合がある	暴力だとは思わ ない	無回答
平手で打つ	女	100.0	59.4	36.5	0.5	3.7
	男	100.0	57.2	35.0	1.1	6.7
足でける	女	100.0	74.0	22.4	0.0	3.7
	男	100.0	78.3	14.4	0.6	6.7
身体を傷つける可 能性のあるもので 殴る	女	100.0	93.2	2.7	0.0	4.1
	男	100.0	91.7	1.1	0.6	6.7
殴るふりをして脅 す	女	100.0	56.2	36.1	3.2	4.6
	男	100.0	47.8	40.0	5.6	6.7
物を投げつける	女	100.0	71.2	23.7	1.4	3.7
	男	100.0	71.7	19.4	1.1	7.8
刃物などを突きつ けて脅す	女	100.0	94.5	1.8	0.0	3.7
	男	100.0	91.1	1.1	0.6	7.2
相手が嫌がってい るのに性的行為を 強要する	女	100.0	83.1	12.8	0.5	3.7
	男	100.0	78.3	12.2	2.8	6.7
言っても長時間 無視しつづける	女	100.0	43.4	44.7	7.8	4.1
	男	100.0	39.4	37.8	16.7	6.1
相手の交友関係や 電話を細かく監視 し続ける	女	100.0	53.4	34.2	8.7	3.7
	男	100.0	42.2	41.7	10.0	6.1
大声で怒鳴る	女	100.0	42.5	47.5	6.4	3.7
	男	100.0	36.1	47.8	9.4	6.7
家に生活費を入れ ない	女	100.0	59.8	27.9	8.7	3.7
	男	100.0	52.2	30.6	11.1	6.1

## 女性



## 男性



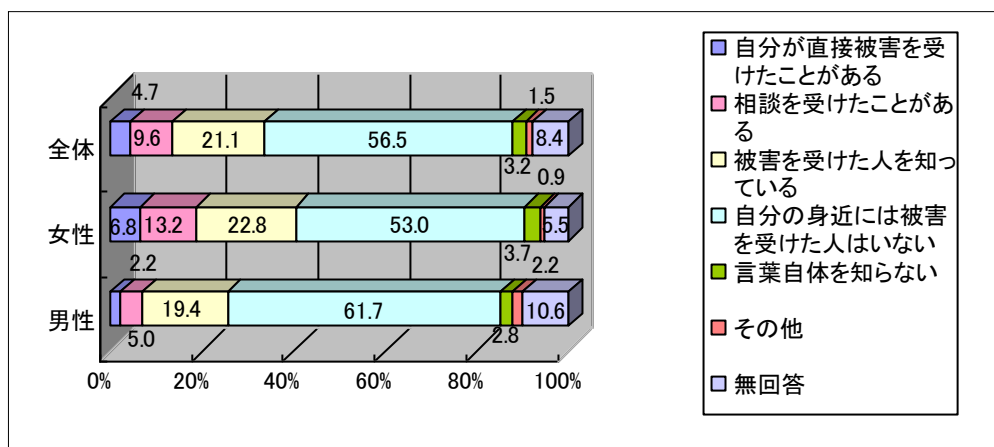
**【全体集計】**では、「刃物などを突きつけて脅す」が最も多く 92.6%、次いで「身体を傷つける可能性のあるもので殴る」が 92.1%、「相手が嫌がっているのに性的行為を強要する」が 80.6%でした。

**【性別集計】**では、女性で最も多かったのは「刃物などを突きつけて脅す」が 94.5%、次いで「身体を傷つける可能性のあるもので殴る」が 93.2%、「相手が嫌がっているのに性的行為を要求する」83.1%でした。男性で最も多かったのは「身体を傷つける可能性のあるもので殴る」が 91.7%、次いで「刃物などを突きつけて脅す」が 91.1%、「足でける」と「相手が嫌がっているのに性的行為を要求する」が同じく 78.3%でした。

## 問27. ドメスティック・バイオレンスについて

被害を受けたり、身近に見聞きしたことがありますか。(複数回答)

		単位 (%)							未回答
		合計	自分が直接被害を受けたことがある	相談を受けたことがある	被害を受けた人を知っている	自分の身近には被害を受けた人はいない	言葉自体を知らない	その他	
全体 (407)		100.0	4.7	9.6	21.1	56.5	3.2	1.5	8.4
性別	女性 (216)	100.0	6.8	13.2	22.8	53.0	3.7	0.9	5.5
	男性 (180)	100.0	2.2	5.0	19.4	61.7	2.8	2.2	10.6



【全体集計】では、「自分の身近には被害を受けた人はいない」が最も多く 56.5%、次いで「被害を受けた人を知っている」が 21.1%、「相談を受けたことがある」が 9.6%でした。

【性別集計】では、「自分の身近には被害を受けた人はいない」が最も多く、女性 53.0%、男性 61.7%、次いで「被害を受けた人を知っている」が女性 22.8%、男性 19.4%でした。次に女性は「相談を受けたことがある」が 13.2%、男性は「無回答」が 10.6%という結果でした。

### 【その他記述】

- ・ わからない。
- ・ そのような情報は入っていない。
- ・ 夫婦げんかはしたことがある。
- ・ 無い。
- ・ 自分がしたことがある。
- ・ 該当なし。

## 【男女共同参画社会の形成について】

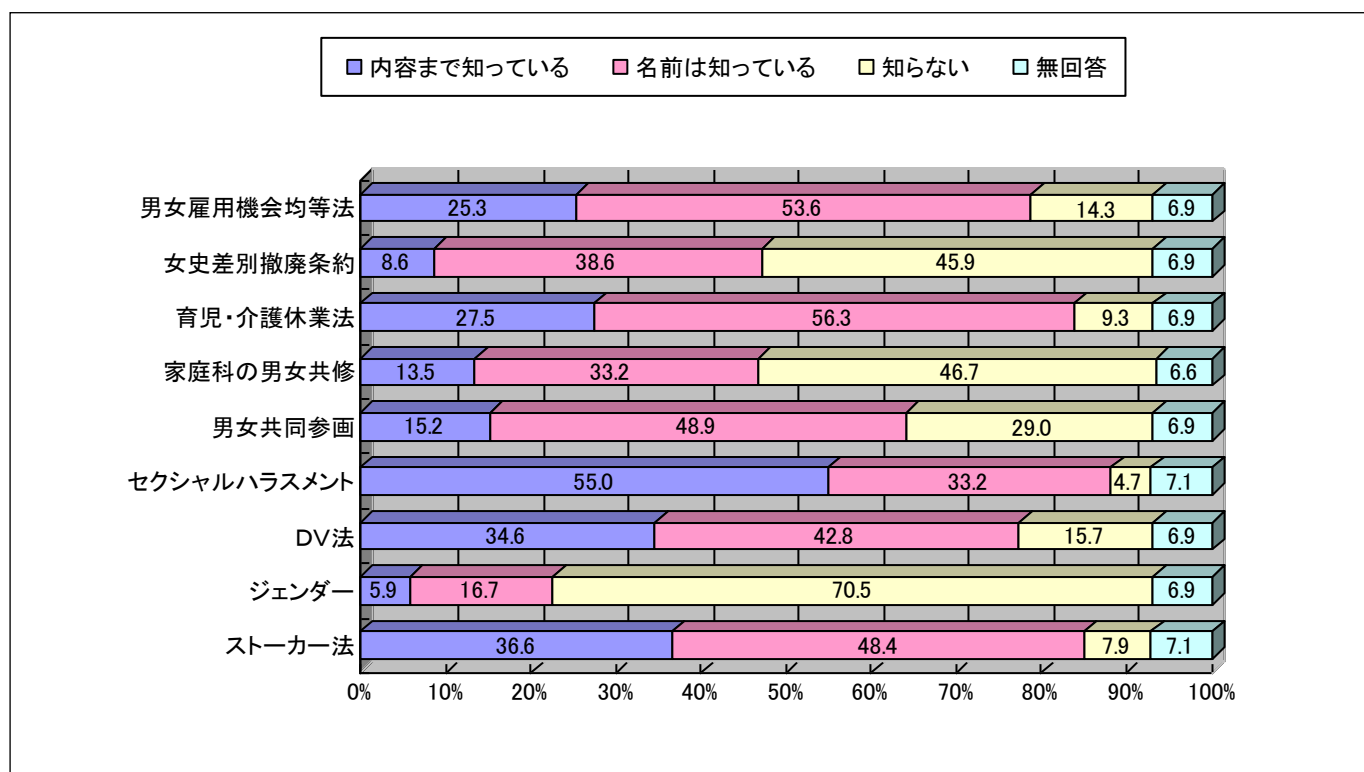
### 問28. 女性の地位向上のための取組について

女性の地位向上のためにさまざまな取組がなされていますが、どの程度知っていますか。

全体

単位 (%)

	合計	内容まで知っている	名前は知っている	知らない	無回答
男女雇用機会均等法	100.0	25.3	53.6	14.3	6.9
女子差別撤廃条約	100.0	8.6	38.6	45.9	6.9
育児・介護休業法	100.0	27.5	56.3	9.3	6.9
家庭科の男女共修	100.0	13.5	33.2	46.7	6.6
男女共同参画社会	100.0	15.2	48.9	29.0	6.9
セクシャルハラスメント	100.0	55.0	33.2	4.7	7.1
DV法	100.0	34.6	42.8	15.7	6.9
ジェンダー	100.0	5.9	16.7	70.5	6.9
ストーカー法	100.0	36.6	48.4	7.9	7.1



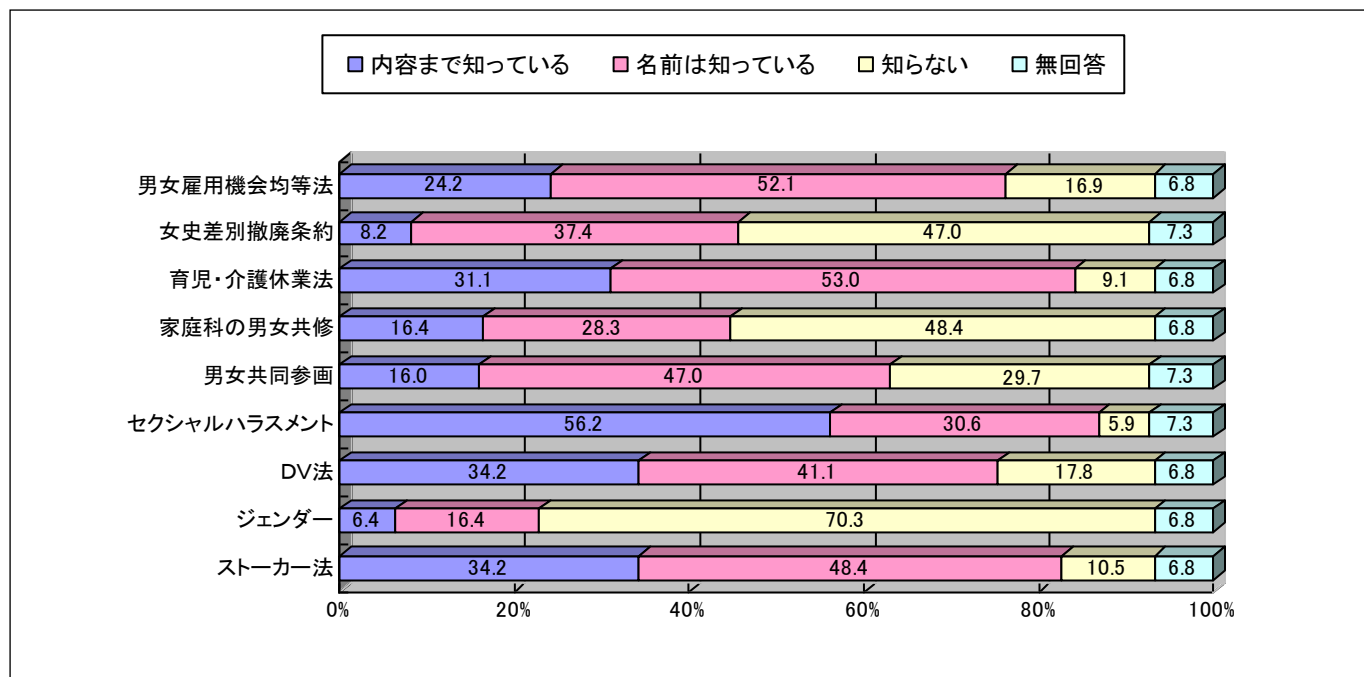


## 男女

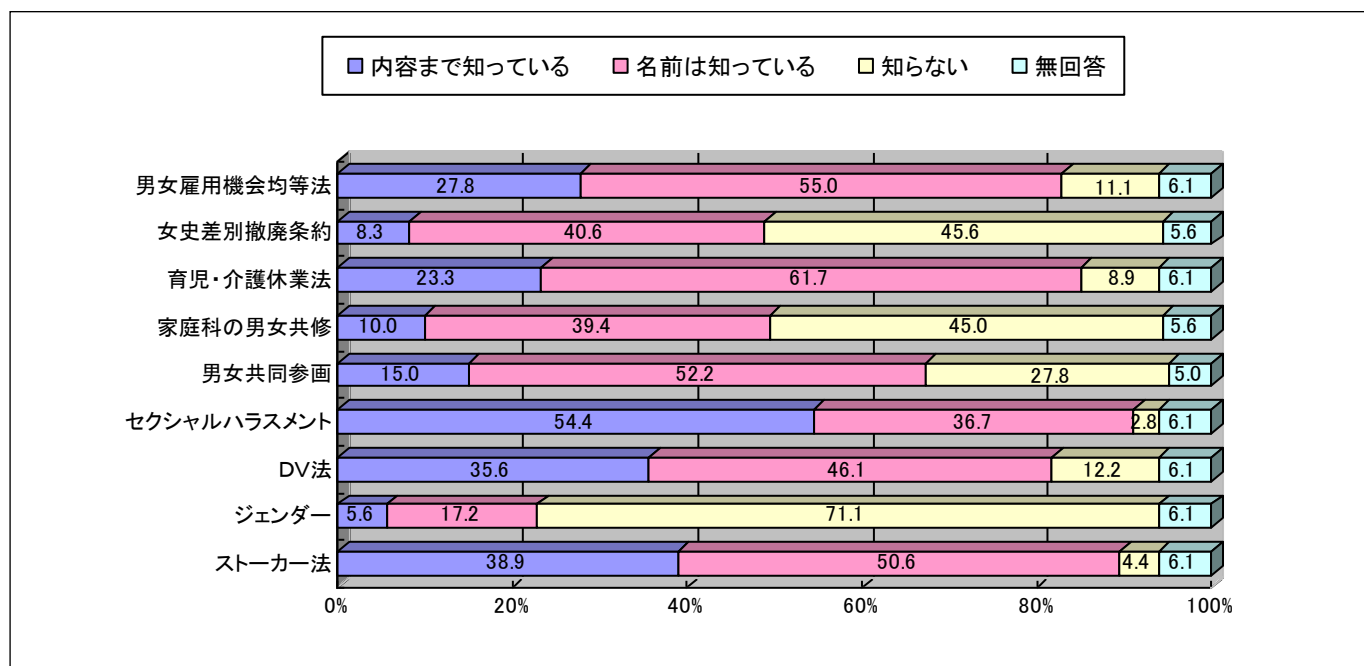
単位 (%)

		合計	内容まで知っている	名前は知っている	知らない	無回答
男女雇用機会均等法	女	100.0	24.2	52.1	16.9	6.8
	男	100.0	27.8	55.0	11.1	6.1
女子差別撤廃条約	女	100.0	8.2	37.4	47.0	7.3
	男	100.0	8.3	40.6	45.6	5.6
育児・介護休業法	女	100.0	31.1	53.0	9.1	6.8
	男	100.0	23.3	61.7	8.9	6.1
家庭科の男女共修	女	100.0	16.4	28.3	48.4	6.8
	男	100.0	10.0	39.4	45.0	5.6
男女共同参画社会	女	100.0	16.0	47.0	29.7	7.3
	男	100.0	15.0	52.2	27.8	5.0
セクシャルハラスメント	女	100.0	56.2	30.6	5.9	7.3
	男	100.0	54.4	36.7	2.8	6.1
DV法	女	100.0	34.2	41.1	17.8	6.8
	男	100.0	35.6	46.1	12.2	6.1
ジェンダー	女	100.0	6.4	16.4	70.3	6.8
	男	100.0	5.6	17.2	71.1	6.1
ストーカー法	女	100.0	34.2	48.4	10.5	6.8
	男	100.0	38.9	50.6	4.4	6.1

## 女性



## 男性



【全体集計】では、「内容まで知っている」と回答した取組で最も多かったのは、「セクシャルハラスメント」55.0%、「名前は知っている」と回答した取組で最も多かったのは、「育児・介護休業法」56.3%でした。反対に「知らない」と回答した取組みで最も多かったのは、「ジェンダー」70.5%でした。

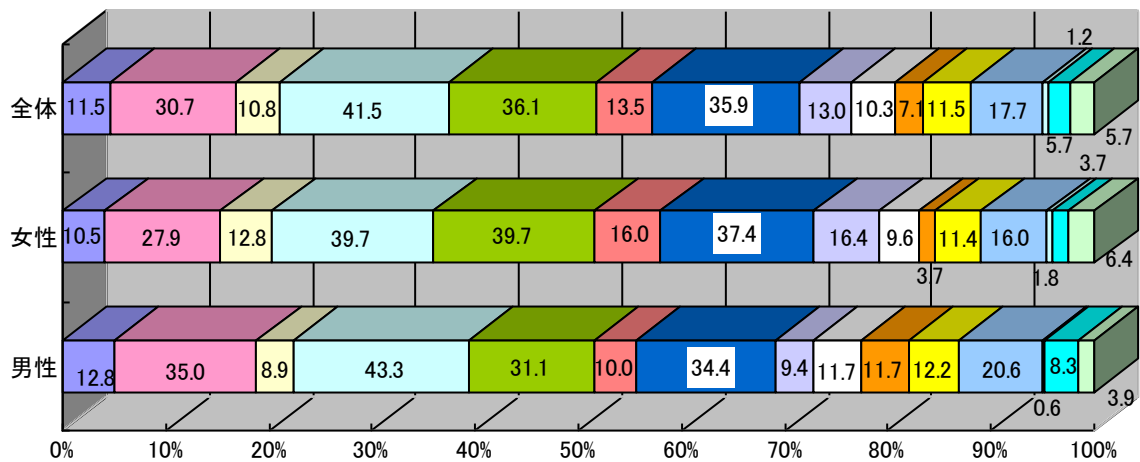
【性別集計】では、「内容まで知っている」と回答した取組で最も多かったのは、共に「セクシャルハラスメント」で女性56.2%、男性54.4%、「名前は知っている」と回答した取組で最も多かったのは、「育児・介護休業法」で女性53.0%、男性61.7%でした。反対に「知らない」と回答した取組みで最も多かったのは、「ジェンダー」で女性70.3%、男性71.1%でした。

問29. 今後、加美町が力を入れていくべきことについて

一人ひとりが個性と能力を発揮し、女性も男性も共にあらゆる分野に参画できる社会を実現していくためには、どのようなことに力を入れていくべきとお考えですか。3つまで。

		単位 (%)							
		合計	母性の保護や性の尊重について、理解を深めるための学習の機会や場を増やす	家庭・学校・幼児教育の場などで、男女平等教育に力を入れる	女性問題に関する啓発・情報提供・交流・相談・研究などの活動を行う	子育て支援や保育施設の整備などに力を入れる	育児休業や介護休業などの制度の普及に向けて、企業への啓発を行う	母子保健・成人病予防・健康診断などの健康関連事業を充実させる	高齢者や障害者への介護支援、施設整備に力を入れる
全体 (407)		100.0	11.5	30.7	10.8	41.5	36.1	13.5	35.9
性別	女性 (219)	100.0	10.5	27.9	12.8	39.7	39.7	16.0	37.4
	男性 (180)	100.0	12.8	35.0	8.9	43.3	31.1	10.0	34.4
		家庭生活や地域活動等のへの男性の積極的な参加を促す	審議会委員など政策決定の場に女性を積極的に登用する	男女共同参画行政を専門に担当する部署の設置	女性あるいは男性の意識改革のための啓発活動	職場への男女格差是正の働きかけ	その他	特になし	無回答
全体 (407)		13.0	10.3	7.1	11.5	17.7	1.2	5.7	5.7
性別	女性 (219)	16.4	9.6	3.7	11.4	16.0	1.8	3.7	6.4
	男性 (180)	9.4	11.7	11.7	12.2	20.6	0.6	8.3	3.9

- 母性の保護や性の尊重について、理解を深めるための学習の機会や場を増やす
- 家庭や学校・幼児教育の場などで、男女平等教育に力を入れる
- 女性問題に関する啓発・情報提供・交流・相談・研究などの活動を行う
- 子育て支援や保育施設の整備などに力を入れる
- 育児休業や介護休業などの制度に向けて、企業への啓発を行う
- 母子保健・成人病予防・健康診断などの健康関連事業を充実させる
- 高齢者や障害者への介護支援、施設整備に力を入れる
- 家庭生活や地域活動等への男性の積極的な参加を促す
- 審議会委員など政策決定の場に女性を積極的に登用する
- 男女共同参画行政を専門に担当する部署の設置
- 女性あるいは男性の意識改革のための啓発活動
- 職場への男女格差是正の働きかけ
- その他
- 特になし
- 無回答



#### 【その他記述】

- ・ わからない。
- ・ 加美町で子育てがしなくなるような政策を期待。
- ・ わからない。
- ・ 抜き打ちで、会社の状況を一般従業員より情報を得て、管理者へ是正をはたらきかけ、その後の状況を見届ける。なお、それらを加美町住民にも知ってもらうよう、広報すべきと思われる。

【全体集計】では、「子育て支援や保育施設の整備などに力を入れる」が最も多く、41.5%、次いで「育児休業や介護休業などの制度に向けて、企業への啓発を行う」が36.1%、「高齢者や障害者への介護支援、施設整備に力を入れる」が35.9%でした。

【性別集計】では、女性は「子育て支援や保育施設の整備などに力を入れる」と「育児休業や介護休業などの制度に向けて、企業への啓発を行う」が共に39.7%、次いで「高齢者や障害者への介護支援、施設整備に力を入れる」が37.4%でした。男性は「子育て支援や保育施設の整備などに力を入れる」が最も多く、43.3%、次いで「家庭や学校・幼児教育の場などで、男女平等教育に力を入れる」が35.0%、「高齢者や障害者への介護支援、施設整備に力を入れる」が34.4%でした。

問30. 加美町が、男女共同参画社会の実現を目指した行政を推進する上での、ご意見・ご要望について  
(自由記述)

20代の意見

「平等」という言葉をよく耳にしますが、ある程度「差」というのは必要だと思いますので人として間違ったことをしなければ「平等」になると思います。 行政という場所で出来ることは少ないと思います。
何事も強要することは逆効果になる可能性が高い、時間はかかるが少しずつ考えを(変化)を取り入れるような形が良いと思う。
具体的活動内容が分かりません。
女性にとって不利になっている事を是正していくのは良い事だと思うが、その立場を利用して、女性だけが有利になる・得をする場面・サービスを乱立させると、それはそれで男女平等になるのか?と思います。女性にプラスになる事はどんどん進めてほしいが、男性に対するデメリットになる面は出ないか、慎重に考えてほしい。
スウェーデン等の他国の取り組みを反映させる。男性・女性の意識改革。男性社員の育児休暇取得率の向上(取りやすい職場の環境づくり)。
今回のアンケートの集計結果が少しでも加美町のためになることを願ってます。

30代の意見 1/2

加美町が、10年先も、50年先も、心が、あたたかくなるような、町であるように祈ってます。すばらしい未来が、おとずれるように。私も、町の発展のため、頑張っていくます。
アンケートするのは良いが、町として何が目的かわからない。無駄なアンケートのような気がする。どの様な事が現時点でされているかが分からない事に対して19年前から何をしていたのか・・・どうせ今回のアンケートも無駄遣いではないでしょうか。
男女共同参画社会も大切ですが、町で行っている地域活動の内容がイマイチ明確ではないと思います。例えば、町民体育館で行っている活動。体力促進なのだと思いますが、私達が参加していいのか?町内で決まっている人だけのものなのか?もう少し皆が分かりやすく参加できるようにしていただきたいと感じます。
男女の平等はあるべき姿なのかもしれませんが、身体的にどうしても異なる生き物である以上、完全に平等にはなりえないと思う。男は力があるし、理性的な面が強い。女は逆に力は弱い、粘り強く感性が豊である。子供も母乳を受ける母親に親しみを受けやすい。どうしても父親は一步下がる。得意不得意を互いが認め合えばよいのではと思う。 市場の現状からみれば、世の中の商品の半分以上が女性向けな気がする。デパートやモールに行っても7~8割は女性向けショップ。平等か?でも、それで良いと思う。仕事面で確かに男性優遇の感はある、それは改められるべきだと思うが、何でもかんでも平等ではなく、得意不得意を発揮できる場が用意される現場にすれば良いだけの事であり「偏見」がなくせればそれでよいのではないのでしょうか?

### 30代の意見 2/2 (つづき)

男尊女卑ありきで質問内容が構成されています。不快に感じる質問内容もあったのも事実です。男女共同参画社会という言葉自体もはや時代遅れだと思います。女性、男性共に平等な社会が確立されています。

バーカめんどくさいんだよ。アンケート前にまずは行政が動き出せ。

「男女共同参画社会」はもちろんですが、町での雇用をもっともっと増やすことも必要だと思います。それから、仕事（企業等）の面だけではなく地域での活動や学校等の行事、町内会等、男性も女性も気軽に参加できる町づくりが大切だと思います。単なる町の個性アピール材料として、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいただきたいくはないんです。ジェンダー問題の研究者の方等、専門的に学んでいる方の下で、しっかりと学習した上で「第2次加美町男女共同参画推進プラン」を進めていただきたいです。読売新聞社のホームページ内の「発言小町」という女性主体の相談掲示板があります。女性が日々抱える不平等に対する不満が手に取るように分かります。加美町もこういった若い女性が関わりやすいサイトを期間限定で立ち上げ広く生の声を集めると良いのではないのでしょうか。発言小町には、職場の事、嫁姑問題、夫への不満（家事やDVについて）地域問題、びっくりするほど様々な問題が寄せられており、企画財政課の皆様も是非一度読んでみていただきたいと思います。

良い町づくりを行うために、町民参加型の意見を話し合える場所を設けてほしい。20代～40代の若い世代の団結が必要だと思います。

私は、このアンケートを通していろいろな質問についてまるをつけてきましたが、今後、加美町はどのようなことに力を入れていくべきか意見と要望を書きたいと思います。一つは、家庭生活や地域活動への男性の積極的な参加を促してもらうこと。二つ目は、母子保健・成人病予防・健康診断などの健康関連事業を充実させること。三つ目は、子育て支援や保育施設の整備などに力を入れてもらうことです。この三つを要望したいと思い書いておきますのでぜひおねがいします。

### 40代の意見 1/2

加美町には、期待するだけ無駄だと思う。

若い男性、女性の意識は変化してきており、家庭の中では家事、育児に参加している人が増えていると思う。しかし、社会、職場がまだまだ。もっと女性に社会に参加し続けられるような社会の仕組みを作ることが大切。まずは職場で女性が昇進でき、バリバリ働ける人には能力を発揮してもらえ体制が大切。町の委員や議員も増えていい。男性中心の時間（日程）ではなく、女性が参加しやすい日程などにすることも大切。

子育て中であっても、働ける職場を作ること。

加美町の実態が分からないので何とも言えません。男性・女性は元来異なった生き物というとならえをある意味しなくてはならないと思う。女性が仕事に進出するほど日本の未来は暗いと思う。女性しかできない、または女性の力を発揮して欲しいことは家庭の中に多いのではないのでしょうか。

#### 40代の意見 2/2 (つづき)

女性が社会参加をしていくうえで、いろいろな取り組みがなされ、結婚、出産をしても仕事が続けていけるよう法律も出来ている。が、各職業、職場によってその認識、対応に格差があるのが現状である。現に私の妻は当時嘱託職員で勤務していたが、妊娠を期に退職を上司からせまられた。それも女性の上司に。周りの風当たりも強くなり結局辞めたのだが、勤めていた所は加美町の社会福祉に関わっている大きな職場だった。

そのような所でさえ女性をまだ差別している。妻は嘱託だったので正職であればそのようなならずにすんだのかもしれないが…。

加美町に望む事はもっと子育てしやすい環境を整えて欲しい。母子、父子家庭、共働きの核家族が安心して働ける職場、保育、児童館などの内容の充実を図って欲しい。児童館などは、18時までが限度で外に出されると聞いた事がある。一番は小野田、中新田、宮崎で預りの格差が出ていると言う事。私には来年一年生になる子供がいる。これについては本当に悩んでおりすぐにでも改善を要望する。(小野田地区)せめて中新田地区と同じ内容、条件でお願いしたい。児童館利用の説明会の時には覆面でどのような説明をするのかぜひ一緒に聞いて欲しいと思う。去年はそれほどひどかったようだ!!

問21で女性委員の割合が出ていましたが、女性委員が多いか少ないかではなく、年代の方が問題ではないでしょうか?たとえば委員が全員50代以上では、子育てしている人の意見は反映されないのではないのでしょうか。

問6で男女の地位平等とありますが、いつまでも男女を天秤にかけても釣り合うことはないのではないのでしょうか。それよりも、世代間格差が問題ではないのでしょうか。これから町をささえていく、子供達をどれだけ多く出来るかを考えた方がよくないのでしょうか。

男女共同参画社会の実現のためには高齢化社会や福祉の問題など全てが関わってくると思います。

解決はしたようですが、庁舎移転が選挙の焦点になるようなくならない議会を行うのではなく、もっとやるべきことがたくさんあると思いますので、有意義な時間と税金の使い道を考えて下さい。

行政の中で、女性が管理職になることも大切だが、それを続けていくには、家庭の中での男性の理解と協力がとても必要になる。

家庭の中のことは、他人にはなかなか見えないもの。

ホットラインのように、気軽に何でも相談できるダイヤルなどがあるといい。

以前にも言っていますが、男も子どもを産めばいいんです。そのような映画もあります。女性は、子を産まなくてはならないため、子育ては必要です。なので、「男は仕事、女は家庭」は基本的なことだと。自分が子どもの時から、それが正しいものと思っています。ただ、女性の方が仕事をしたいと思えば企業でそれを進めていく必要があります。

全てにおいて男女平等に!というのは少し無理があるような気はします。昔からの「男性(家長)をたてる!」というような風習は残しつつも、家庭生活、地域生活と一緒に参加できるような男女関係が一番望ましい姿ではないかと思います。なかなか難しいですね。

#### 40代の意見 2/2 (つづき)

より良い方向に推進できます事をご期待しています。

働く女性の子育て支援や保育施設の整備に力を入れていただき、高齢者の介護の為に会社を辞める事のないような支援もしてもらいたい。

むずかしかった。

現代の若者には、実際無理なご要望だと思う。

現実は大変なんです。—————。

とにかく、これらの事よりも、税金を安くしてけらいんちゃ。！！

良い提案・意見を女性の声から取り入れる事は重要だとは思いますが、あまりにも男女平等という意識が広まりすぎている現状がどうかと思う。

子供にとって、母親というのは、大きな存在。大切な事であり、教育をしっかりしていく為にも、父親はしっかりと働かなくてはいけない。その為に、子供の行事に毎回参加出来ない状況も普通の事だと思う。

昔と違いホームビデオも手軽に購入出来るのだから、もう少し、男性を女性が支える様な社会であって良いと思う。

#### 50代の意見 1/2

男女共同参画社会をめざすなら、20年後に向けて小中とPTAを通した教育の場を通して、子供、母、父を通して考えを、育んで行くのがベストだと思う。

いくら行政が変えようと思っても無理である。

行政が変えられるのは方向性だけで今すぐどうと言う事ではない。

古くむかしでも男女それぞれが役割を持って共同参画して来た社会があった。

古くは男女のちがいを、互いに尊敬しあえる、社会を教育することである。

たとえば性教育の時間にしても男女別々でなくともに学べる時間をつくるとか、そこから男女の差別がはじまっていると思う

女性には、力仕事は、無理とか言う偏見は捨てる。

行政の内容を、もっとわかりやすくできないのかな？

難しい言葉でわからない。

わかる人には、わかるかも

誰にでも分かることばでポイントを示してください。

まじめに働いて、納税している人達が老後も安心して色々なサービスが受けられるように希望します。二人暮らしの将来の設計から14万（国民年金のみ）で暮さなければなりません。病気への不安、介護されなければならなくなった時の不安、人には迷惑をかけたくないと思いつつ、どうしても減入ってしまう気持ちになります。社会や制度のせいにするつもりはありません。しかし、どうしても不公平さをぬぐいきることはできません。特に行政に携わる方はあらゆる意味で優遇されている気がします。是非国民の方達の為の良い



## 50代の意見 2/2 (つづき)

制度を・・・
色々ありますが、相談できるところがありません。
町が目標を作って、それを目指した形で行政をやっていけば良いのでは。
特になし。
男女共同参画社会を目指しているようであるが、どのような、内容なのかわからないのでこたえようがないと思う。 行政上でどのようにしたいのか、わかるようにしてほしい。
介護に対して、まだまだ意識が足りないと思います。 妻が全面的に介護に携わる事が当たり前になっている。 平等に有給休暇があるのに、夫は休暇がもらえません・・・・・・と言うより、企業（会社）での意識が不十分に考えられます。 人間だけではなく企業（会社）での勉強が足りない様に思われます。
問26 質問の意味がわかりません。全てが暴力だと思います。男性は暴力を認めないのでしょうか。その辺の意識の違いが悲しいです。アンケートの結果を是非見せていただきたいです。
加美町を問わず、田舎に来る程他人事、行政の事等今の若者は関心がなさすぎる。現実、今のままでは良いとは思わない人は沢山いると思うが、かと言って人任せ！誰かがやれば、やってくれる人がいればそれでよしとしている。「男女共同参画社会」を確立するのは難しすぎる。この推進を高めるため携わる行政の担当者の意識、人脈等はかなり大変だと思う。行政はこれから先、何年がかりで推進していくのでしょうか？
遅れて大変申しわけありませんでした。
地元で、大きな会社を多く誘致していただき、経済的に、時間的に、余裕のある地域を作っていただければ、いろいろと地域の活発化に繋がるのではないかと思います。 (現在、通勤に片道50～60分要します。)

## 60代以上の意見 1/3

現在、1人ぐらしの78才の母親にアンケートが来て代筆していますが、この内容でアンケートに答えることは不可能です。 紙面ではなく、対面で実施するなどの工夫が必要と考えます。 個人的にですが、いくらアンケートを実施して結果だけ公表しても、政治が動かない限りはっきり言って、税金の無駄遣いとしか考えられません。
アンケート調査結果の公表を期待します。
前項の問-29の1～12全てを、積極的に進めては、どうですか？
別になし。
私の元の職場で10分毎に鏡の前で化粧を直す異常な女性がいた。もし男性と女性を本当に同等に見て、男女共同参画の実現を目指すなら女性の化粧やファッション・バックなどのブランド指向、その様な事が女性に反省する気持ちがなければ同等とは決して見られない。

## 60代以上の意見 2/3 (つづき)

そして男性だけが夜おそくまで残業し、女性は家事があるからと早く帰る。男性には男性でなければ出来ない事があり、女性は女性でなければ出来ない事がある。

日本は欧米先進国だけのまねをしようとしている。アジア・アフリカ・イスラム諸国など女性がどの様な扱いを受けているか、よく考えてほしい。日本人の男性は気性が弱々しくなり、女性は荒々しくなっている。いくら今男女共同参画社会などと言っても、現在だけだと思う。この長い歴史を見れば、男性と女性の役割はおのずと明確になると思う。

どんなに男性が女性のふりをして子供を生む事は出来ない。どんなに女性が男性のように運動・労働しても（平均的にだが）重い物は持てないし、戦争に参加する事は出来ない。その様な荒々しい女性は見るだけでもいやである。

男性と女性には、それぞれ持ち分がある。どちらも男女に係わらず人に対する思いやりがあれば、この世は良くなるが、自分の我（エゴ）だけで向い合っているのは良くない。

それはたとえ男女共同参画社会が実現したとしても・・・・・・・・

各部落の区長はほとんど男性（行政のマンネリ化を防ぐために任期制は？）。

選挙の立会人にもっと女性も参加するべき・させるべき。

男女共同参画とは、男女が同じことをすることではないと思う。男女の特性を生かし、役割分担があつてよい。しかしそれが一方的な決めつけや、押しつけがあつてはならないと思う。また、子どもの出産は女性の負担がどうしても大きくなるので、仕事を続けていく上で不利にならないような制度にして欲しい。就職しないで子育てに専念する専業主婦（夫）が男女共同参画に貢献していないということではない。色々な施策を考える場面で、専業主婦の目線でも取り入れていくべき。

意識調査のアンケート集計に満足せず内容を精査し、課題を見つけて次のステップに進めていただきたいと思います。

男女共同参画社会の実現を推進するにあたって、見直してもらいたいことは、あらゆることに女性としての意見や考えを取り入れて欲しいと思います。男性の立場や目線だけ政策決定しないで、家庭、学校、社会の全ての場に女性を積極的に参加させてほしいです。

各自それぞれの立場においての意識の改革が必要だと思います。その為には、老若男女、一同に会して接する機会を持つ事だと思います。例えば①生活環境改善や美化事業等を設け、多くの人達が参加し交流を深める。（賃金が発生する場合は特定の人への参加に限定されやすいので、ローテーション等により多くの人達の参画を得る事。）

②講演やスポーツを通じての交流を深める場を多く持つ事。それらは最初集落単位から始まり、旧町村→町全体へと波及する事が望ましい。これらは一朝一夕とはいかないが徐々に時間をかけて浸透させる。

「男女共同参画社会」の言葉すら知らない、無関心の町民が多くおられると思います。

各地域、行政毎に若い世代に興味の持てる啓発活動の企画はいかがでしょうか。

企画を立てても人が集まらないのでは意味がありません。参集に当たってはPTAや各団体等の協力を得ることも必要かと思ひます。政策にはスピード、力の入れ方が欠かせないと思ひます。

高齢の親がことあるごとに口にします（現代は欲しい物がたやすく手に入る様になった。

### 60代以上の意見 3/3 (つづき)

でも人と人の和がなく昔の方がくらし安かったと・・・)

今は弱者が人の顔色を見て行動しなければ話の和に入って行かない。私達の子、孫を見てるとめんどうな事には係りたくない、話も一方的、私も高齢者になってお互いを尊重し  
いくらかでも困っている人のささえになってやれたら、今迄の自分の生き方に少しは、満  
足出来るかと思っています。

何でも相談出来る方が庁舎にいらっしやると、良いのですが若い人の結婚離れが心配です。  
交流の場をもう少し多くしてほしいのですが、参加したくても出来ない(時間的、土曜日  
も休み無し)等の理由から勝手な事を記入しましたお許し下さいませ。

意見として、とてもむずかしい内容のアンケートでした。

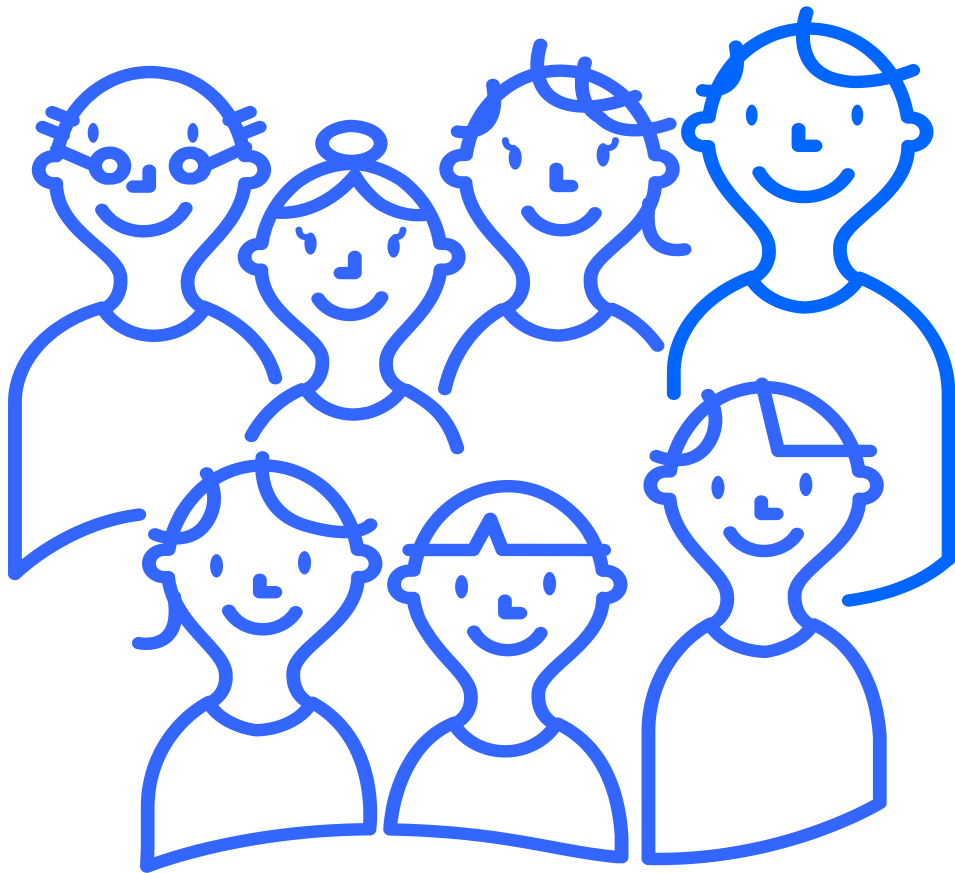
### 3 資料編

---

平成25年

# 加美町男女共同参画社会

## に関する町民意識調査



加美町企画財政課

## 加美町男女共同参画社会に関する町民意識調査

該当する番号に、○印をつけてください。

### 【男女平等意識と役割分担について】

問 1 あなたの性別を次の中からお選びください。

- 1 男性      2 女性

問 2 あなたの年齢を次の中からお選びください。

- 1 20～29歳      2 30～39歳      3 40～49歳  
4 50～59歳      5 60歳以上

問 3 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたは、この考え方に同感する方ですか、それとも同感しない方ですか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 同感する  
2 どちらかといえば同感する  
3 どちらかといえば同感しない  
4 同感しない  
5 どちらともいえない

問 4 あなたは、女性が職業を持つことについてどう思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 女性は職業を持った方が良い  
2 女性は職業を持たない方が良い  
3 結婚するまでは職業を持つ方が良い  
4 子どもができるまでは職業を持つ方が良い  
5 子どもができてずっと職業を続ける方が良い  
6 子どもができたなら職業を辞めて、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方が良い  
7 その他(具体的に記入してください: )  
8 わからない

問 5 あなたは、今の社会で次のような各分野で、男女の地位が平等になっていると思いますか。それとも平等ではないと思いますか。次のア～キのそれぞれについて、1つずつ選び、回答欄に○をつけてください。

	平等である	どちらかといえば平等である	どちらかといえば平等でない	平等でない	わからない
ア) 家庭生活					
イ) 学校教育					
ウ) 職場					
エ) 地域活動の場					
オ) 社会通念やしきたり					
カ) 法律や制度					
キ) 政策を決定する場					

問 6 今後、社会のあらゆる分野で男女の地位が平等になるためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の中から特にそう思うものを2つまで選んでください。

- 1 社会の制度や古いしきたり、差別・偏見を改めること
- 2 男性が意識を改革すること
- 3 女性が意識を改革すること
- 4 女性が経済力を持つこと
- 5 女性が社会参加に積極的に取り組むこと
- 6 女性が議会や審議会、協議会など政策決定の場に参加すること
- 7 女性のための行政施策を充実させること
- 8 家庭や学校・幼児教育の場などで、男女平等教育に力を入れること
- 9 その他（具体的に記入してください： \_\_\_\_\_）
- 10 現状のままでよい
- 11 わからない

問 7 あなたには、現在配偶者がいらっしゃいますか。

- 1 いる
- 2 いない →4ページの間8へ

《問7の質問で「配偶者がいる」と答えた方だけにおたずねします。》

問 7-1 あなたと配偶者の方とは、いわゆる「共働き」ですか。

- 1 共働きである（パートを含む）
- 2 共働きでない
- 3 その他（夫婦共に働いていないなど）

《問7の質問で「配偶者がいる」と答えた方だけにおたずねします。》

問 7-2 あなたは、現在配偶者と同居していますか。

- 1 同居している
- 2 同居していない

《問7-2の質問で「配偶者と同居している」と答えた方だけにおたずねします。》

問 7-3 次のような日常的な事柄は、実際にあなたの家庭では夫と妻のどちらが中心に行っていますか。次のア～シのそれぞれについて1つずつ選び、回答欄に○をつけてください。

	夫が中心	妻が中心	夫と妻と同程度	他の家族がしている	該当なし
ア) 家計の管理					
イ) 食事の支度					
ウ) 食事の後片付け					
エ) 日常の買い物					
オ) 掃除					
カ) 洗濯					
キ) 子供の入浴の世話					
ク) 保育所などの送り迎え					
ケ) 学校、保育所の行事の参加					
コ) 老親の世話					
サ) 家族の介護					
シ) 町内会、自治会					
ス) 家の管理（修理や庭の手入れ等）					



《問7-2の質問で「配偶者と同居している」と答えた方だけにおたずねします。》

問 7-4 あなたが日頃、もっと夫や妻に分担してもらいたいと思っていることは何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- 1 家計の管理
- 2 食事の支度
- 3 食事の後片付け
- 4 日常の買い物
- 5 掃除
- 6 洗濯
- 7 子供の入浴の世話
- 8 保育所などの送り迎え
- 9 学校、保育所の行事参加
- 10 老親の世話
- 11 家族の介護
- 12 町内会・自治会
- 13 家の管理（修理や庭の手入れ等）
- 14 その他（具体的に記入してください： \_\_\_\_\_）
- 15 特にない

### 【職業観などの意識について】

問 8 あなたの今の職場または以前働いていた職場、家族や友人が働いている職場などで、次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

- 1 採用面で女性は男性より不利である
- 2 女性の昇進が遅く、同期の男性と昇給の差がある
- 3 女性には研修・出張の機会が少ない
- 4 男性と女性の勤務時間に差がある
- 5 一定年齢以上の女性に対して、就労に対する圧力がある
- 6 男性は育児休業や介護休業がとりにくい雰囲気がある
- 7 定年の年齢に男女差がある
- 8 結婚・出産による退職制がある
- 9 コピー・お茶くみなどの雑用は女性だけがする
- 10 女性はすぐにやめるとか、労働能力が劣るといった考えがある
- 11 セクシャルハラスメント（性的な言動による嫌がらせ行為）がある
- 12 その他（具体的に記入してください： \_\_\_\_\_）
- 13 特にない

《現在働いている方だけにおたずねします。》

問 9 あなたが現在働いている理由をあげてください。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

- 1 生計を維持するため
- 2 家計費の足しにするため
- 3 将来に備えて貯蓄するため
- 4 自分で自由に使えるお金を得るため
- 5 生きがいを得るため
- 6 自分の能力・技能・資格を生かすため
- 7 視野を広げるため
- 8 友人を得るため
- 9 社会に貢献するため
- 10 働くのが当たり前だから
- 11 家業だから
- 12 その他(具体的に記入してください: )

《現在働いている方だけにおたずねします。》

問10 あなたは、現在の仕事に不満を感じますか。

- 1 不満を感じない
- 2 不満を感じる

《問10の質問で「不満を感じる」と答えた方にお聞きします。》

問10-1 何に不満を感じますか。次の中から当てはまるものを3つまで選んでください。

- 1 自分の技能や能力が生かせない
- 2 収入が少ない、収入が安定していない
- 3 勤務時間が長い、残業が多い
- 4 昇進の可能性が低い
- 5 仕事に将来性がない
- 6 性別による差別がある
- 7 能力が正当に評価されていない
- 8 教育・訓練を受ける機会が少ない
- 9 職場の人間関係が良くない
- 10 雇用、身分、地位が不安定である
- 11 その他(具体的に記入してください: )
- 12 わからない

《現在働いている方だけにおたずねします。》

問1 1 あなたが引き続き仕事をしていく上で、重荷になるようなことはありますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

- 1 自分の健康や体力
- 2 家事の負担
- 3 育児の負担
- 4 老親の世話や介護の負担
- 5 配偶者の転勤
- 6 勤め先の長く勤められないような雰囲気
- 7 自分の転勤
- 8 結婚や持ち家購入などによる転居
- 9 特にない
- 10 その他(具体的に記入してください: )

《これまで仕事を辞めた経験のある方だけにおたずねします。》

問1 2 仕事を辞めた理由は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。

- 1 結婚のため
- 2 家事や育児への専念のため
- 3 健康上の理由
- 4 家事や育児との両立が困難だから
- 5 老人や病人の世話のため
- 6 勤め先の都合のため
- 7 経済的に働く必要がなくなったため
- 8 仕事に対する不満があったため
- 9 職場の人間関係のため
- 10 職場で結婚・出産退職の慣行があったため
- 11 配偶者の転勤のため
- 12 給料・収入が少ないため
- 13 家族の反対や無理解
- 14 定年退職など
- 15 その他(具体的に記入してください: )
- 16 わからない

問13 職場において、男女共同参画を積極的に進めるには、どのようなことが必要だと思いますか。最も必要だと思われることについて、次の中から1つだけ選んで下さい。

- 1 職場で働く人がそれぞれ男女共同参画についての意識を高めること
- 2 企業が自ら女性を積極的に管理職（部長、課長など）に登用すること
- 3 職場のトップ（社長など）や管理職（部長、課長など）の意識を高めること
- 4 男女共同参画の推進に取り組む他の企業の事例について、情報を提供すること
- 5 女性に対する能力開発機会を提供すること
- 6 女性が自ら能力を向上させるための取り組みを行うこと
- 7 代替要員の確保など、育児休業・介護休業を取得しやすい環境をつくること
- 8 出産や子育て後の女性の再就職支援をすること
- 9 出産や介護を理由に退職した場合の再雇用制度を普及すること
- 10 その他（具体的に記入してください： \_\_\_\_\_）
- 11 わからない

### 【家庭観などの意識について】

問14 あなたの家族構成を教えてください。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- 1 一人暮らし
- 2 配偶者
- 3 子～年齢を記入してください（ 歳）（ 歳）（ 歳）（ 歳）（ 歳）
- 4 親、祖父母～（ ）内に○をつけてください（父、母、義父、義母、祖父、祖母）
- 5 孫、ひ孫
- 6 その他

《15歳以下の子どもをお持ちで、現在働いている方だけにおたずねします。》

問14-1 あなたが仕事をしているときお子さんを誰に預けますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 配偶者
- 2 保育所、幼稚園
- 3 児童館（学童保育含む）
- 4 同居の父母など
- 5 別居の父母など
- 6 親戚
- 7 知人
- 8 その他（具体的に記入してください： \_\_\_\_\_）

問15 あなたにとって、子どもを産み育てるということはどのような意味を持っていますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 自分の命を伝える
- 2 次の社会を担う世代をつくる
- 3 家族の結びつきを強める
- 4 老後、自分の面倒を見てもらう
- 5 出産、育児によって自分が成長する
- 6 子どもを持って初めて社会的に認められる
- 7 子どもを産み育てるのは人間として自然なことである
- 8 その他(具体的に記入してください: )
- 9 わからない

問16 あなたは、お子さんを何人ぐらいほしいとお考えですか。(あるいはお考えでしたか。)次の中から1つだけ選んでください。

- 1 1人
- 2 2人
- 3 3人
- 4 4人以上
- 5 いない
- 6 わからない

問17 今、女性が一生のうちに産む子どもの数が少なくなっています。あなたはその原因は何であるとお考えですか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。

- 1 子育て以外にも時間を使いたいことが増えている
- 2 経済的な負担が重いから
- 3 精神的、肉体的な負担が重いから
- 4 住居が狭いから
- 5 老後を子どもに頼ろうと思わなくなったから
- 6 仕事を続けられなくなるから
- 7 その他(具体的に記入してください: )
- 8 わからない



問20 男性の家事・育児・介護などへの関わりがまだまだ少ないといわれています。関わりを進めていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。最も必要だと思われることについて、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 男女の役割分担意識を解消するための啓発活動を充実すること
- 2 男女を対象にした、仕事と子育ての両立を支援する体制を整備充実すること
- 3 男性料理教室など、男性を対象とした学習や訓練の機会を増やすこと
- 4 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること
- 5 男性が家事・育児・介護に関わりやすくなるように、社会や地域が協力すること
- 6 労働時間短縮や各種休暇制度を普及させること
- 7 その他（具体的に記入してください： \_\_\_\_\_）
- 8 特に必要なことはない

### 【社会活動や学校における意識について】

問21 加美町における平成24年度の各種審議会・委員会委員の総数371人のうち、女性委員は117人（31.5%）ですが、あなたはこの比率をどのように感じますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 高い水準である
- 2 妥当である
- 3 低い水準である
- 4 どちらともいえない
- 5 わからない
- 6 その他（具体的に記入してください： \_\_\_\_\_）

問22 あなたは町の政策・方針決定の場へ、女性がもっと参加したほうが良いと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- 1 参加したほうが良い
- 2 そうは思わない
- 3 どちらともいえない
- 4 わからない

問23 あなたが参加している地域活動及びボランティア活動は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- 1 PTA 活動
- 2 町内会・自治会・婦人会などの地域団体活動
- 3 共同購入や消費者問題に関する活動
- 4 保健推進員などの保健・医療・衛生に関する活動
- 5 老人や障害者などの社会福祉に関する活動
- 6 青少年グループの世話や母親クラブなどの地域の子どもたちのための活動
- 7 自然保護、環境浄化などの地域環境を守るための活動
- 8 趣味、スポーツ、教養などのサークル・グループ活動
- 9 国際協力活動
- 10 上記以外のボランティア活動
- 11 その他(具体的に記入してください: )
- 12 参加していない

《問23の質問で「参加していない」と答えた方だけにおたずねします。》

問23-1 参加しない理由は何ですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

- 1 家事・育児・介護などが忙しい
- 2 仕事が忙しい
- 3 家族が反対する
- 4 健康に自信がない
- 5 人間関係がわずらわしい
- 6 自分に適した活動が見当たらない
- 7 あまり関心がない
- 8 身近に機会がない
- 9 どのような地域活動又はボランティア活動があるのか分からない
- 10 自分の時間・家族との時間を優先したい
- 11 その他(具体的に記入してください: )



問24 学校などの教育現場において、男女共同参画が積極的に進むためには、どのようなことが必要だと思いますか。最も必要だと思われることについて、次の中から1つだけ選んでください。

- 1 学校生活の中で、性別による役割分担をなくすこと
- 2 生活指導や進路指導において、男女の別なく能力や個性を活かせるようにすること
- 3 他者の意見を尊重しつつ自分の意見を主張するという指導を通じて、男女の相互理解を深めること
- 4 教職員に対する男女平等教育の研修を通して、教職員自身の意識を変えること
- 5 学校全体で、男女平等教育に取り組む体制をつくること
- 6 校長や教頭など管理職に女性を増やすこと
- 7 PTA や保護者会などを通じて、男女平等教育への保護者の理解と協力を求めること
- 8 その他（具体的に記入してください： \_\_\_\_\_ )
- 9 わからない

### 【人権問題について】

問25 あなたが、女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。次の中からいくつでも選んで下さい。

- 1 売春・買春（援助交際含む）
- 2 女性の働く風俗営業
- 3 家庭内での暴力（身体的、精神的、性的、経済的、言葉の暴力など）
- 4 親しい間柄（恋人や同性相手など）での暴力（身体的、精神的、性的、経済的、言葉の暴力など）
- 5 ストーカー行為（つきまとい、待ち伏せ、監視、交際要求、乱暴な言動など）
- 6 女性に対する性的暴力（痴漢、強姦<sup>ごうかん</sup>など）
- 7 職場におけるセクシャルハラスメント（性的な言動によるいやがらせ行為）
- 8 女性のヌード写真などを掲載した雑誌
- 9 女性の体の一部や媚びたポーズ・視線を内容に関係なく使用した広告など
- 10 女性の容貌<sup>ようぼう</sup>を競うミス・コンテスト
- 11 「令夫人」「〇〇女史」のように女性だけに用いられる言葉
- 12 その他（具体的に記入してください： \_\_\_\_\_ )
- 13 わからない

問26 あなたは、次のようなことが配偶者や恋人など近親者の間で行われた場合、それを暴力だと思えますか。次のア～サのそれぞれについて、1つずつ選び、回答欄に○をつけてください。

	どんな場合でも 暴力だと思う	暴力の場合と・そうでない場合がある	暴力だとは思わない
ア) 平手で打つ			
イ) 足でける			
ウ) 身体を傷つける可能性のあるもので殴る			
エ) 殴るふりをして脅す			
オ) 物を投げつける			
カ) 刃物などを突きつけて脅す			
キ) 相手が嫌がっているのに性的な行為を強要する			
ク) 何を言っても長時間無視しつづける			
ケ) 相手の交友関係や電話を細かく監視し続ける			
コ) 大声で怒鳴る			
サ) 家に生活費を入れない			

問27 近年、ドメスティック・バイオレンス（DV：夫婦や恋人の間でふるわれる身体的・精神的・性的・経済的な暴力や言葉の暴力）が問題となっていますが、被害を受けたり身近に見聞きしたことがありますか。次の中から当てはまるものをすべて選んでください。

- 1 自分が直接被害を受けたことがある
- 2 相談を受けたことがある
- 3 相談を受けたことはないが、被害を受けた人を知っている
- 4 自分の身近には、被害を受けた人はいない
- 5 言葉自体を知らない
- 6 その他（具体的に記入してください： \_\_\_\_\_）

## 【男女共同参画社会の形成について】

問28 近年、女性の地位向上のためにさまざまな取り組みがなされていますが、あなたは次のことについてどの程度知っていますか。次のア～オのそれぞれについて、1つずつ選び、回答欄に○をつけてください。

	内容まで知っている	名前は知っている	知らない
ア) 男女雇用機会均等法			
イ) 女子差別撤廃条約			
ウ) 育児・介護休業法			
エ) 家庭科の男女共修			
オ) 男女共同参画社会			
カ) セクシャルハラスメント			
キ) DV法			
ク) ジェンダー			
ケ) ストーカー法			

問29 一人ひとりが、個性と能力を発揮し、女性も男性も共にあらゆる分野に参画できる社会を実現していくためには、今後、加美町はどのようなことに力を入れていくべきとお考えですか。次の中から特にそう思うものを3つまで選んでください。

- 1 母性の保護や性の尊重について、理解を深めるための学習の機会や場を増やす
- 2 家庭や学校・幼児教育の場などで、男女平等教育に力を入れる
- 3 女性問題に関する啓発・情報提供・交流・相談・研究などの活動を行う
- 4 子育て支援や保育施設の整備などに力を入れる
- 5 育児休業や介護休業などの制度の普及に向けて、企業への啓発を行う
- 6 母子保健・成人病予防・健康診断などの健康関連事業を充実させる
- 7 高齢者や障害者への介護支援、施設整備に力を入れる
- 8 家庭生活や地域活動等への男性の積極的な参加を促す
- 9 審議会委員など政策決定の場に女性を積極的に登用する
- 10 男女共同参画行政を専門に担当する部署の設置
- 11 女性あるいは男性の意識改革のための啓発活動
- 12 職場への男女格差是正の働きかけ
- 13 その他(具体的に記入してください: )
- 14 特にない

問30 加美町が、男女共同参画社会の実現を目指した行政を推進する上で、ご意見・ご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

アンケートは以上になります。大変ありがとうございました。